

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

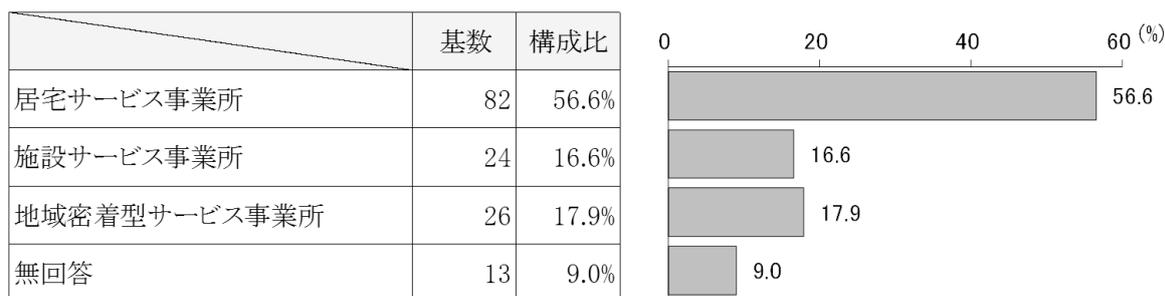
1. 事業所の概要

(1) 事業所

問1 貴事業所の(1)事業種別(2)経営主体(3)所在地についてお答えください。
(○印は1つ)

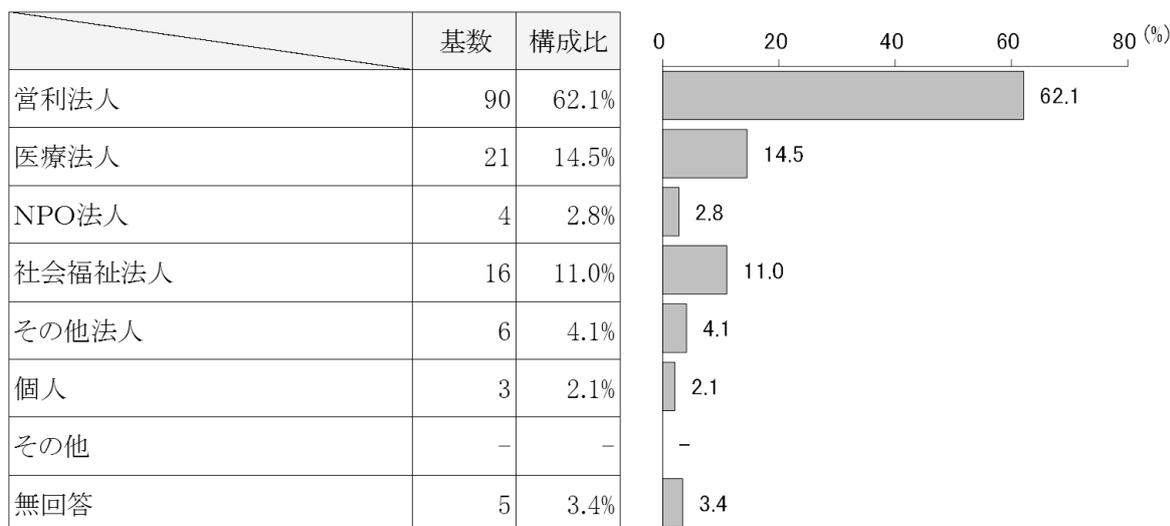
①事業種別

図表1-1-1 事業種別 全体



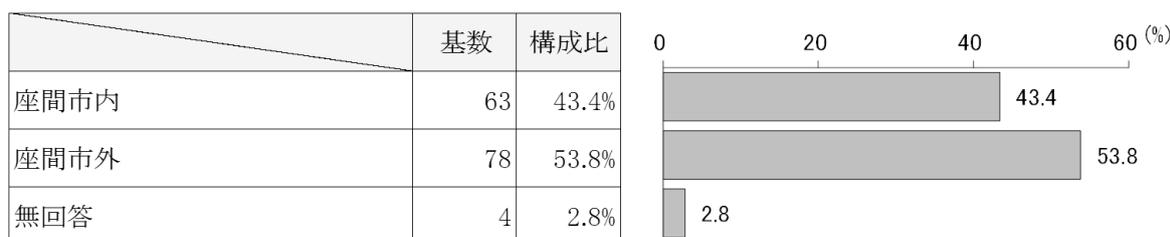
②経営主体

図表1-1-2 経営主体 全体



③所在地

図表1-1-3 所在地 全体



(2) 事業所の職員体制

問2 貴事業所の職員体制についてご記入ください。
 ※令和元年12月1日現在、貴事業所に所属している方についてご記入ください。
 ※該当がない場合は「0」をご記入ください。

図表1-2-1 事業所の職員体制 平均と内訳

		在職 事業者数	在職比率 (%)	在職事業所 の 合計人数	在職事業所 における 平均人数	
施設管理者	常勤	135	93.1%	142	1.05	
	非常勤	0	0.0%	0	0.00	
事務職員	常勤	54	37.2%	105	1.94	
	非常勤	26	17.9%	47	1.81	
保健師	常勤	0	0.0%	0	0.00	
	非常勤	2	1.4%	6	3.00	
看護職員	看護師	常勤	37	25.5%	103	2.78
		非常勤	59	40.7%	159	2.69
	准看護師	常勤	19	13.1%	53	2.79
		非常勤	28	19.3%	51	1.82
介護職員	介護福祉士	常勤	93	64.1%	478	5.14
		非常勤	77	53.1%	389	5.05
	訪問介護員	常勤	29	20.0%	94	3.24
		非常勤	38	26.2%	339	8.92
	PT※	常勤	24	16.6%	61	2.54
		非常勤	12	8.3%	21	1.75
	OT※	常勤	6	4.1%	9	1.50
		非常勤	21	14.5%	42	2.00
	ST※	常勤	5	3.4%	13	2.60
		非常勤	1	0.7%	2	2.00
	柔道整復師・あん摩 マッサージ指圧師	常勤	14	9.7%	17	1.21
		非常勤	9	6.2%	10	1.11
	社会福祉士・精神 保健福祉士	常勤	11	7.6%	13	1.18
		非常勤	4	2.8%	4	1.00
	社会福祉主事任用資 格者	常勤	10	6.9%	15	1.50
		非常勤	3	2.1%	4	1.33
その他介護職員	常勤	45	31.0%	211	4.69	
	非常勤	59	40.7%	330	5.59	

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

		在職 事業者数	在職比率 (%)	在職事業所 の 合計人数	在職事業所 における 平均人数
介護支援専門員（うち、主任介護支援専門員）	常勤	29 (8)	20.0% (5.5%)	117 (78)	4.03 (2.69)
	非常勤	11 (2)	7.6% (1.4%)	82 (70)	7.45 (6.36)
栄養士（うち、管理栄養士）	常勤	17 (15)	11.7% (10.3%)	70 (62)	4.12 (3.65)
	非常勤	4 (3)	2.8% (2.1%)	38 (37)	9.50 (9.25)
住環境コーディネーター	常勤	8	5.5%	21	2.63
	非常勤	1	0.7%	1	1.00
福祉用具専門相談員	常勤	17	11.7%	79	4.65
	非常勤	5	3.4%	6	1.20
その他	常勤	20	13.8%	68	3.40
	非常勤	31	21.4%	157	5.06

※PTは、Physical Therapistの略語で理学療法士のこと

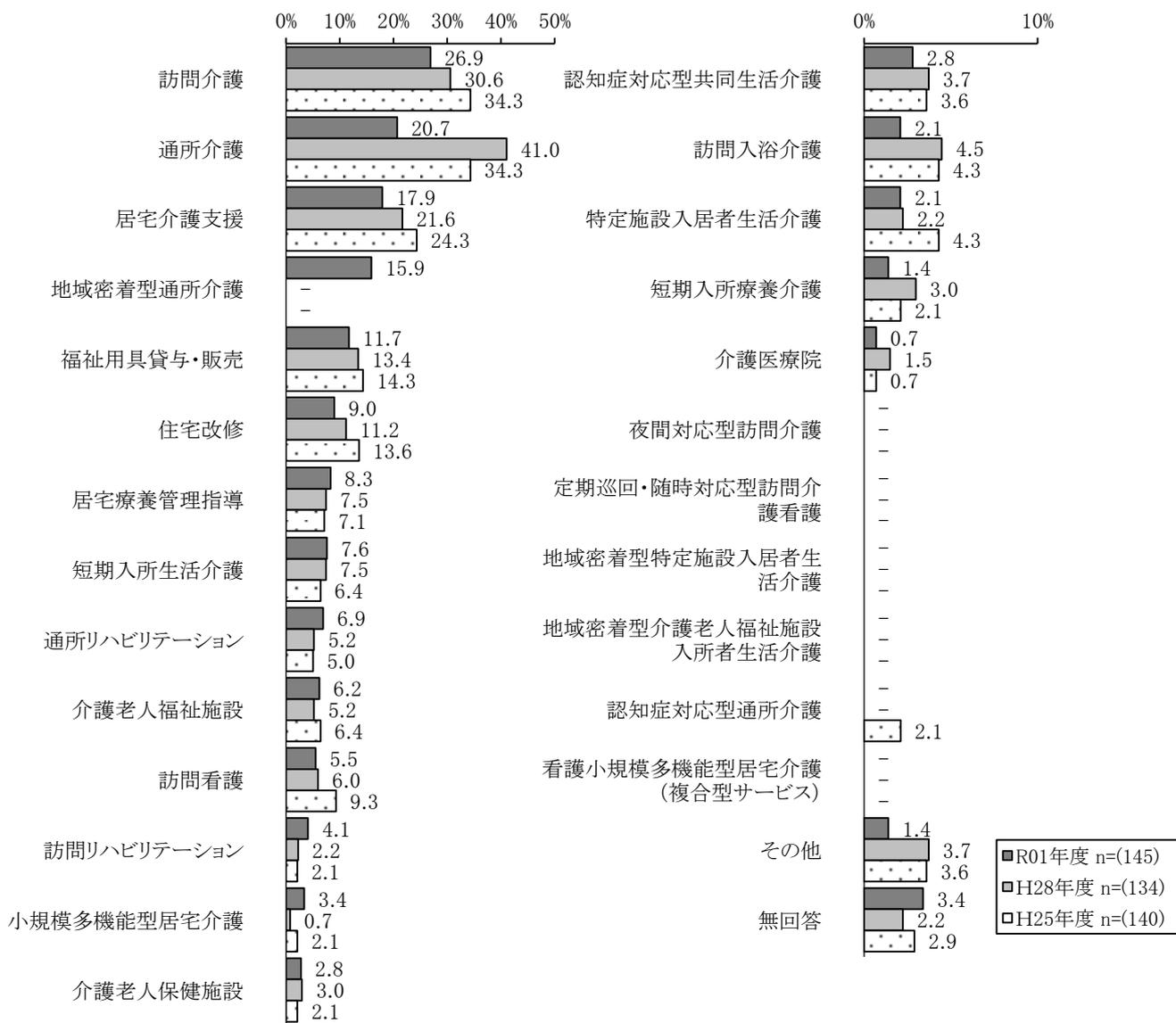
※OTは、Occupational Therapistの略語で作業療法士のこと

※STは、Speech Therapistの略語で言語療法士及び言語聴覚士のこと

(3) 座間市内外で提供しているサービス

問3 座間市内に限らず、提供しているサービスは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表1-3-1 座間市内外で提供しているサービス 全体



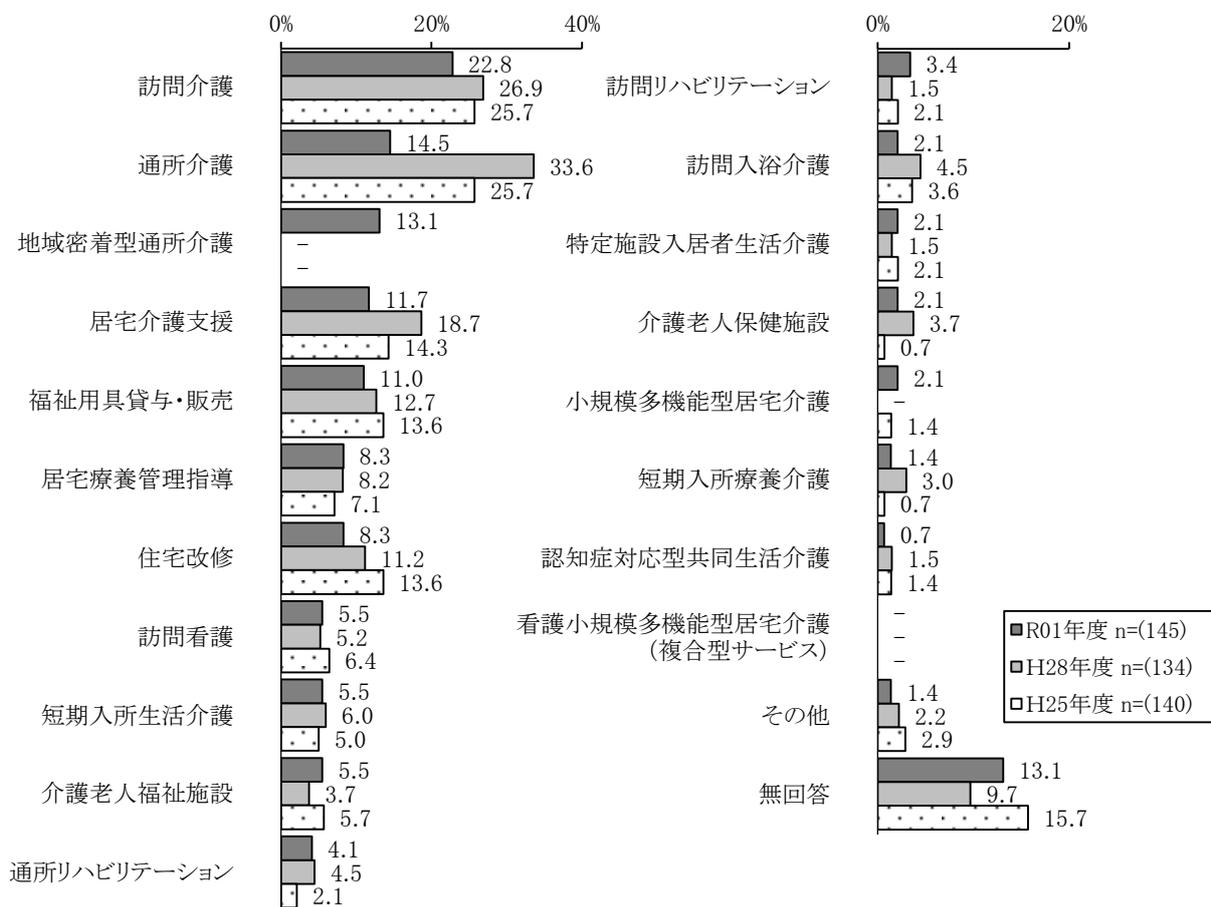
座間市内外で提供しているサービスについては、「訪問介護」(26.9%)が最も高かった。以下、「通所介護」(20.7%)、「居宅介護支援」(17.9%)、「地域密着型通所介護」(15.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「小規模多機能型居宅介護」が2.7ポイント高く、「訪問介護」が3.7ポイント、「通所介護」が20.3ポイント、「居宅介護支援」が3.7ポイント低くなっている。

(4) 座間市内で提供しているサービス

問4 座間市内で提供しているサービスは何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表1-4-1 座間市内で提供しているサービス 全体



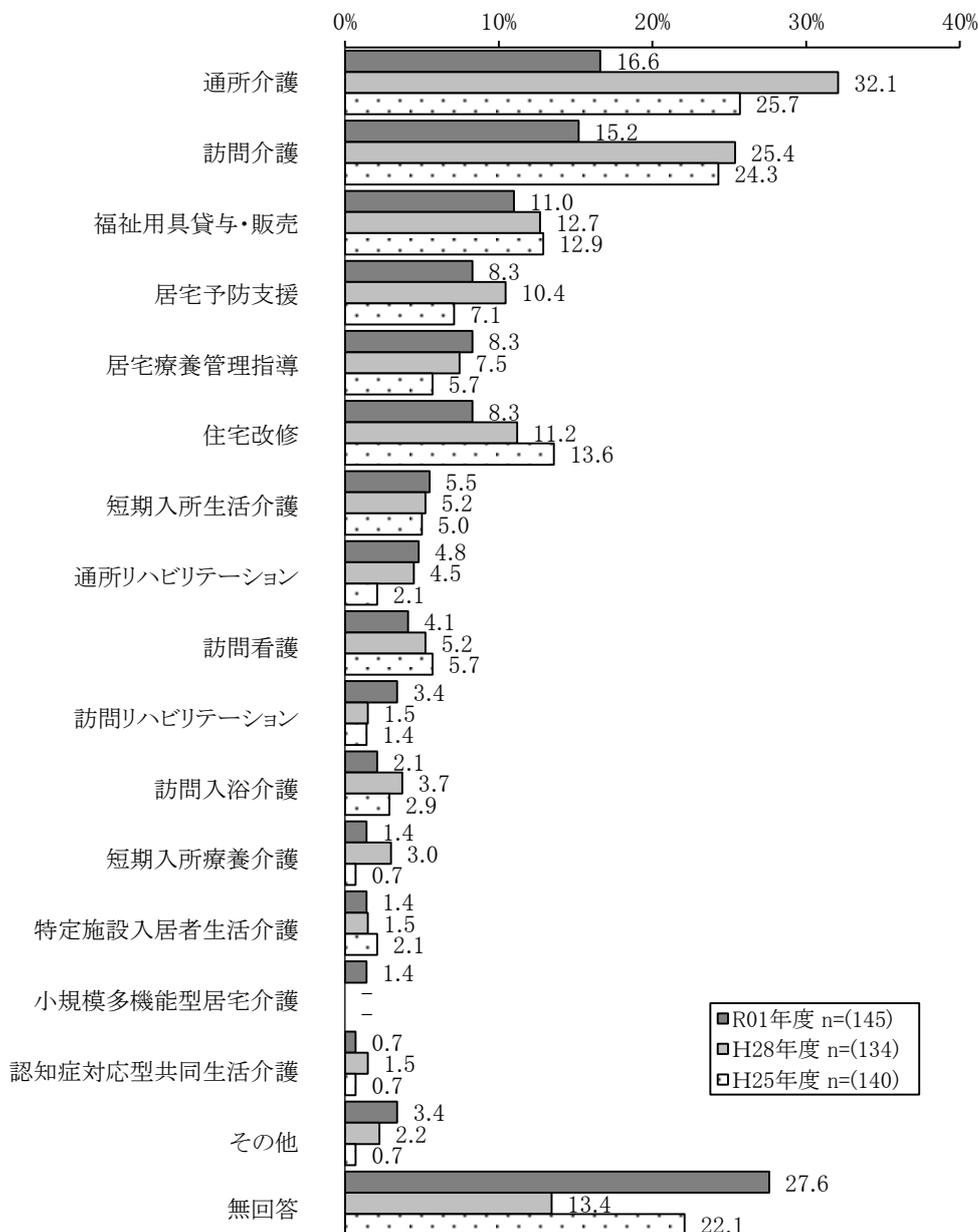
座間市内で提供しているサービスについては、「訪問介護」(22.8%)が最も高かった。以下、「通所介護」(14.5%)、「地域密着型通所介護」(13.1%)、「居宅介護支援」(11.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「小規模多機能型居宅介護」が2.1ポイント高く、「訪問介護」が4.1ポイント、「通所介護」が19.1ポイント、「居宅介護支援」が7.0ポイント、「住宅改修」が2.9ポイント、「訪問入浴介護」が2.4ポイント低くなっている。

(5) 座間市内で提供している介護予防サービス

問5 座間市内で提供している介護予防のサービスは何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表1-5-1 座間市内で提供している介護予防サービス 全体



座間市内で提供している介護予防サービスについては、「通所介護」(16.6%)が最も高かった。以下、「訪問介護」(15.2%)、「福祉用具貸与・販売」(11.0%)、「居宅予防支援」・「居宅療養管理指導」・「住宅改修」(いずれも8.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「通所介護」が15.5ポイント、「訪問介護」が10.2ポイント、「居宅予防支援」が2.1ポイント、「住宅改修」が2.9ポイント低くなっている。

2. 利用定員と介護サービスの実施状況について

(1) 利用定員のあるサービスの実施状況

問6 以下の利用定員のあるサービスを実施されている場合、実施サービスの番号に○を付け、該当する欄に利用定員をご記入ください。また、通所介護及び通所リハビリテーションについては、年間稼働日数もあわせてご記入ください。
※各介護保険施設の利用定員には、短期入所用のベッドは含めずにご記入ください。

図表2-1-1 利用定員のあるサービスの実施状況 平均

	回答件数	利用定員 (平均)	回答件数	年間稼働日数 (平均)
通所介護	27	34.33人/日	27	303.07日
地域密着型通所介護	23	15.13人/日	23	288.61日
通所リハビリテーション	9	32.89人/日	8	252.25日
短期入所生活介護	9	18.67床		
短期入所療養介護	1	1.00床		
認知症対応型共同生活介護	1	12.00人		
特定施設入居者生活介護	4	65.75人		
介護老人福祉施設	7	94.29床		
介護老人保健施設	4	75.25床		
小規模多機能型居宅介護	2	31.50人/日		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.00人/日		

図表2-1-2 利用定員のあるサービスの実施状況 内訳

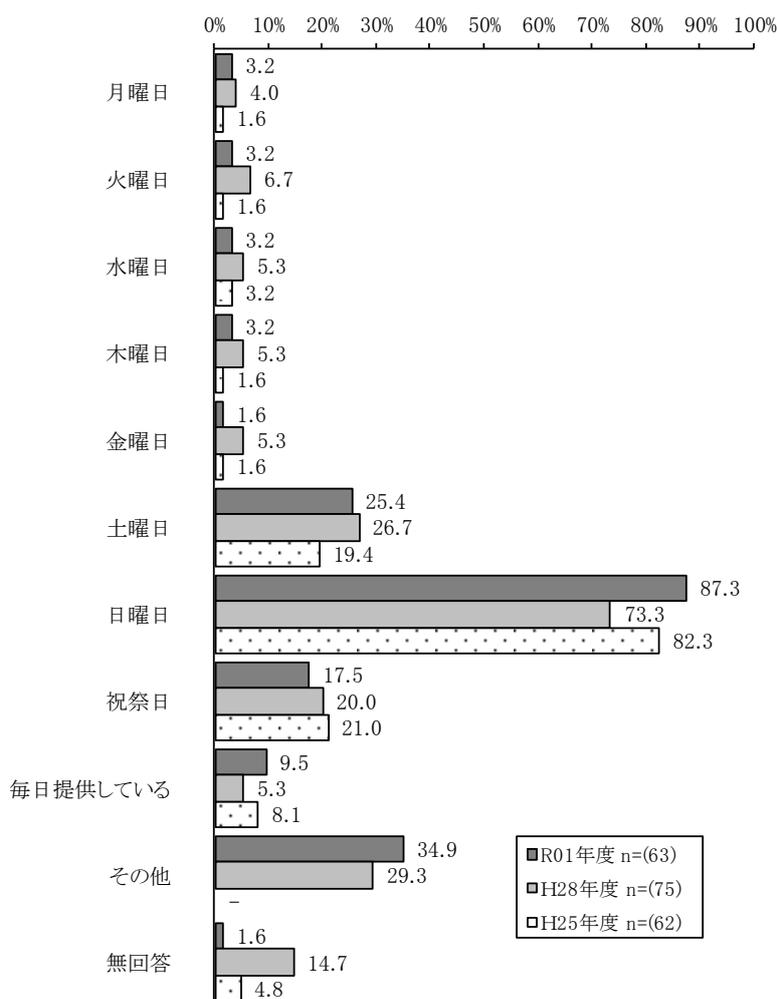
	回答件数	利用定員 (平均)	回答件数	年間稼働日数 (平均)
通所介護	27	927人	27	8183日
地域密着型通所介護	23	348人	23	6638日
通所リハビリテーション	9	296人	8	2026日
短期入所生活介護	9	168床		
短期入所療養介護	1	1床		
認知症対応型共同生活介護	1	12人		
特定施設入居者生活介護	4	263人		
介護老人福祉施設	7	660床		
介護老人保健施設	4	301床		
小規模多機能型居宅介護	2	63人		
看護小規模多機能型居宅介護	0	0		

(2) 通所サービスを提供していない曜日（現状・今後）

問7 問3、問4、問5で「通所介護」「地域密着型通所介護」「通所リハビリテーション」「認知症対応型通所介護」と回答した事業者にお伺いします。
 通所サービスにおいて、1週間のうちサービスを提供していない曜日がありますか。
 現状と今後の方針（希望）についてお聞かせください。（あてはまる番号すべてに○印）

【①現状】

図表2-2-1 通所サービスを提供していない曜日-現状 全体

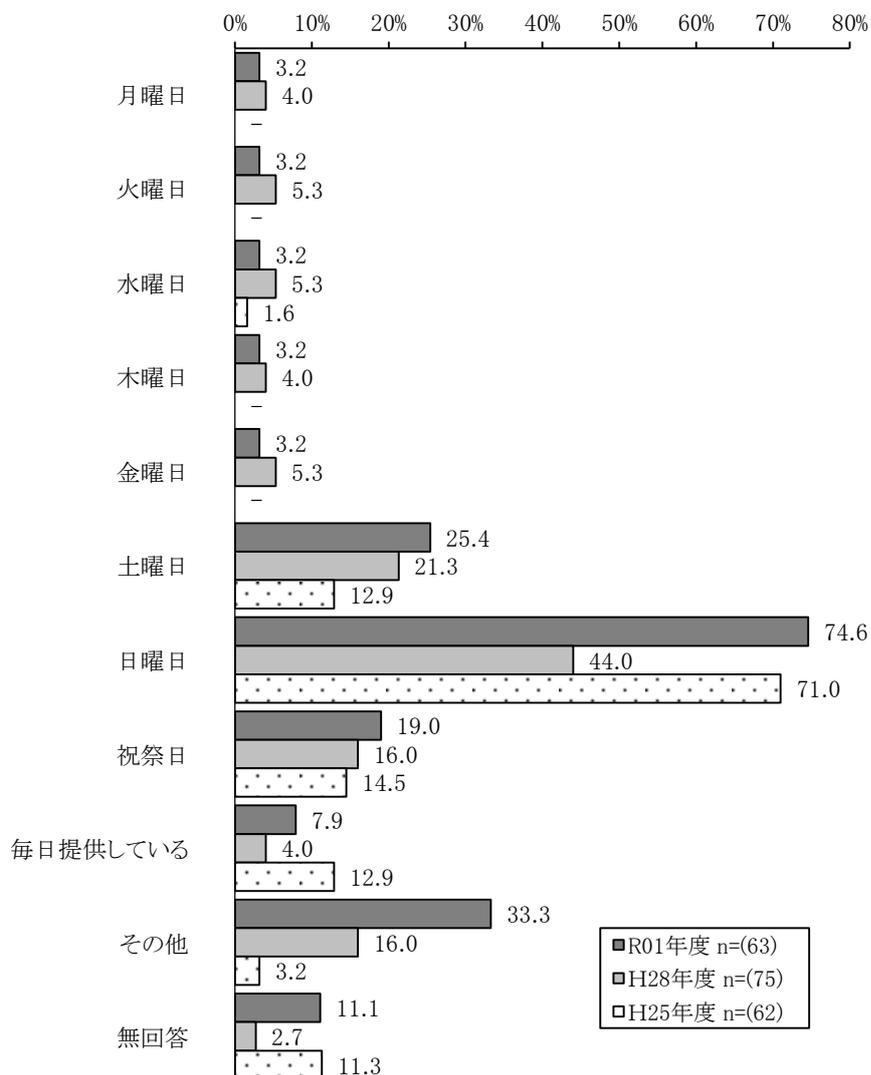


通所サービスを提供していない曜日（現状・今後）①現状については、「日曜日」（87.3%）が最も高かった。以下、「土曜日」（25.4%）、「祝祭日」（17.5%）、「毎日提供している」（9.5%）となっている。

前回調査と比較すると、「日曜日」が14.0ポイント、「毎日提供している」が4.2ポイント、「その他」が5.6ポイント高く、「火曜日」が3.5ポイント、「金曜日」が3.7ポイント、「祝祭日」が2.5ポイント低くなっている。

【②今後】

図表2-2-2 通所サービスを提供していない曜日-今後 全体



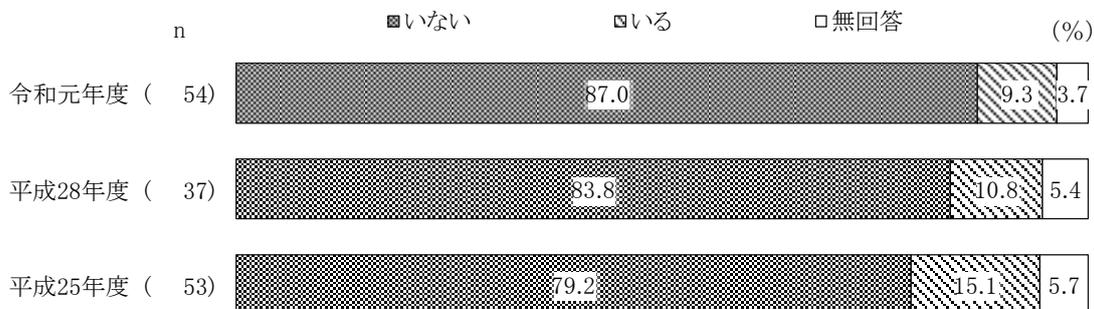
通所サービスを提供していない曜日（現状・今後）②今後については、「日曜日」（74.6%）が最も高かった。以下、「土曜日」（25.4%）、「祝祭日」（19.0%）、「毎日提供している」（7.9%）となっている。

前回調査と比較すると、「日曜日」が30.6ポイント、「祝祭日」が3.0ポイント、「毎日提供している」が3.9ポイント、「その他」が17.3ポイント高く、「火曜日」が2.1ポイント低くなっている。

(3) 介護保険外サービスで宿泊サービスを提供しているか

問8 問3、問4、問5で「通所介護」「地域密着型通所介護」と回答した事業者にお伺いします。
 介護保険外サービスで宿泊サービスを提供していますか。(○印は1つ)

図表2-3-1 介護保険外サービスで宿泊サービスを提供しているか 全体



介護保険外サービスで宿泊サービスを提供しているかについては、「いない」が87.0%を占めていた。一方、「いる」(9.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「提供している」が1.5ポイント低くなっている。

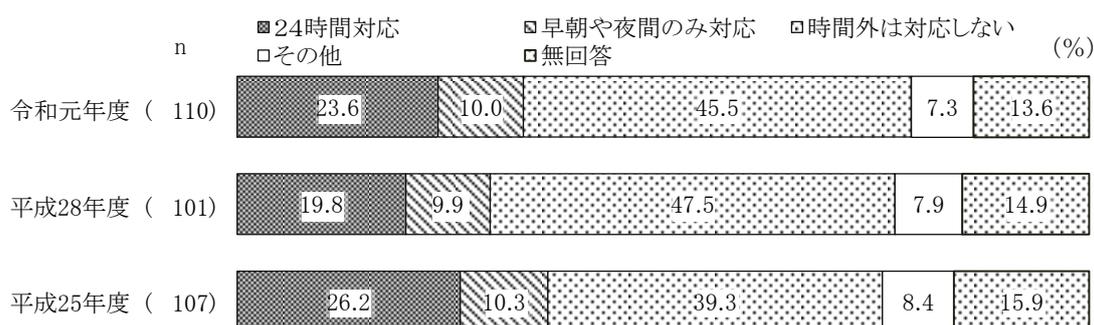
(4) 通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針や希望

問9 問3で「1」「2」「3」「4」「5」「8」「9」「10」「24」と回答した事業所にお伺いします。

通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針（希望）について、対応時間、休業日の対応別にそれぞれあてはまるもの1つに○印を付けてください。

①対応時間（現状）

図表2-4-1 対応時間（現状） 全体

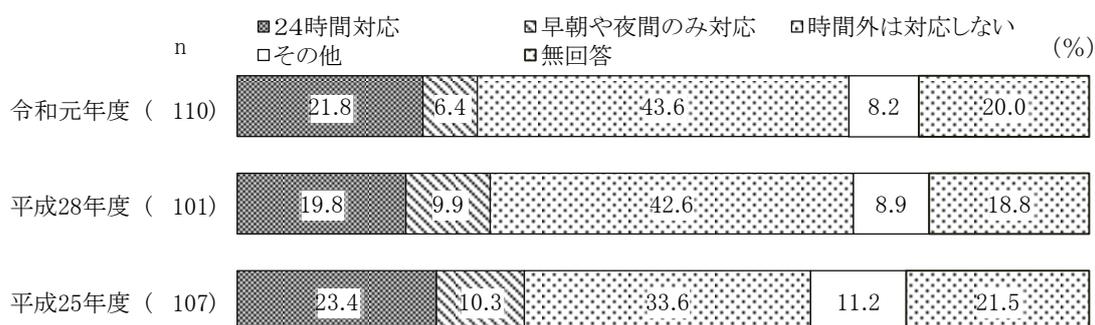


通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針や希望①対応時間（現状）については、「時間外は対応しない」（45.5%）が最も高かった。以下、「24時間対応」（23.6%）、「早朝や夜間のみ対応」（10.0%）となっている。

前回調査と比較すると、「24時間対応」が3.8ポイント高く、「時間外は対応しない」が2.0ポイント、「その他」が0.6ポイント低くなっている。

②対応時間（今後）

図表2-4-2 対応時間（今後） 全体



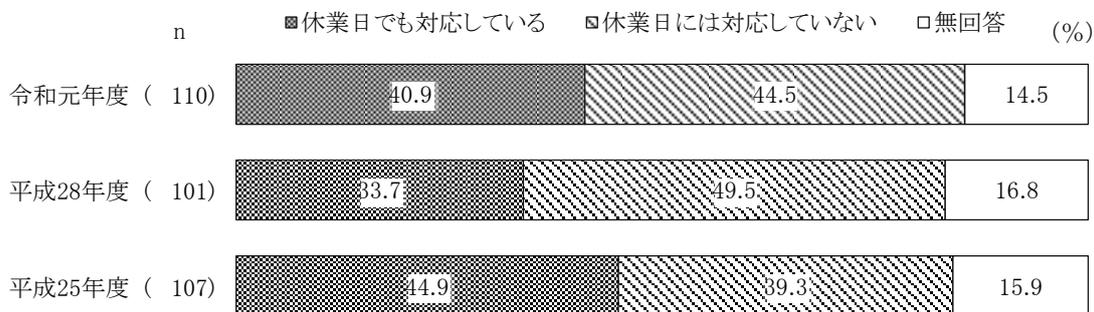
通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針や希望②対応時間（今後）については、「時間外は対応しない」（43.6%）が最も高かった。以下、「24時間対応」（21.8%）、「早朝や夜間のみ対応」（6.4%）となっている。

前回調査と比較すると、「24時間対応」が2.0ポイント高く、「早朝や夜間のみ対応」が3.5ポイント、「その他」が0.7ポイント低くなっている。

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

③休業日の対応（現状）

図表2-4-3 休業日の対応（現状） 全体



通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針や希望③休業日の対応（現状）については、「休業日には対応していない」は44.5%、「休業日でも対応している」は40.9%となっている。

前回調査と比較すると、「休業日でも対応している」が7.2ポイント高く、「休業日には対応していない」が5.0ポイント低くなっている。

④休業日の対応（今後）

図表2-4-4 休業日の対応（今後） 全体



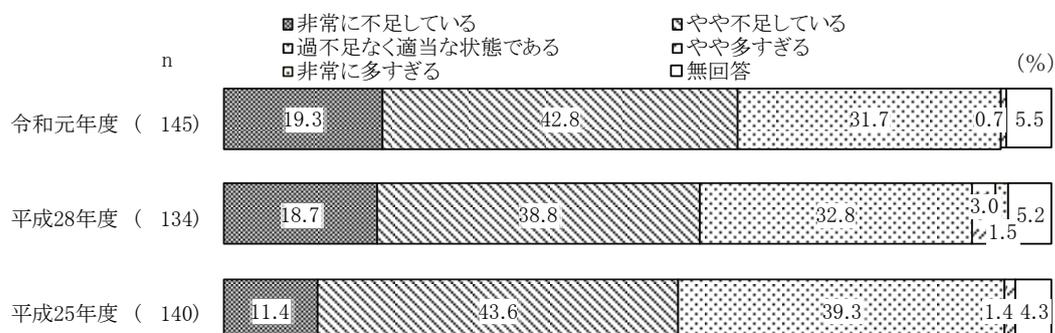
通常のサービス提供時間外にとっている現状と今後の方針や希望④休業日の対応（今後）については、「休業日には対応していない」は47.3%、「休業日でも対応している」は34.5%となっている。

前回調査と比較すると、「休業日でも対応している」が0.8ポイント高く、「休業日には対応していない」が0.2ポイント低くなっている。

(5) 職員の過不足

問10 現在のサービス提供状況から見て、職員の過不足はありますか。(○印は1つ)

図表2-5-1 職員の過不足 全体



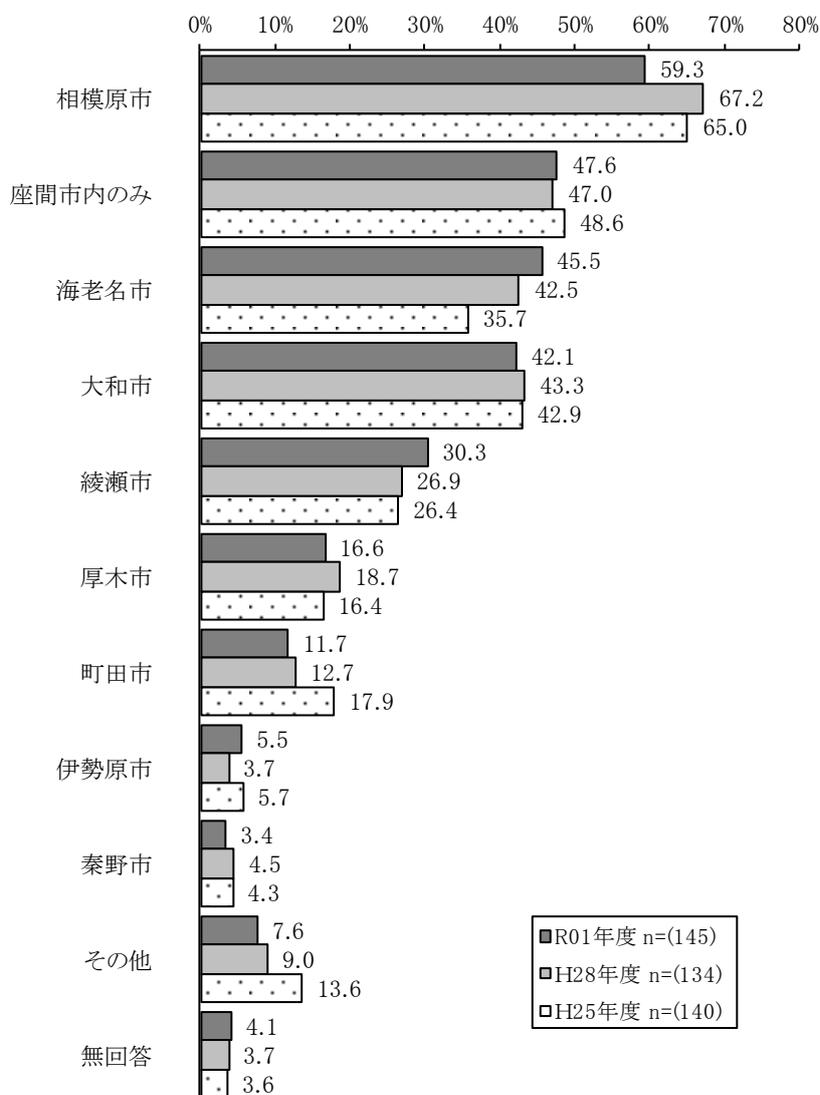
職員の過不足については、「やや不足している」(42.8%)が最も高く、「非常に不足している」(19.3%)と合わせた『不足している』が62.1%を占めていた。一方、「過不足なく適当な状態である」は31.7%となっている。

前回調査と比較すると、「やや不足している」が4.0ポイント高く、「やや多過ぎる」が2.3ポイント低くなっている。

(6) 現状のサービス提供地域と今後の活動希望地域

問11 現状のサービス提供地域と今後の活動地域（希望）について、それぞれあてはまるものすべてに○印を付けてください。

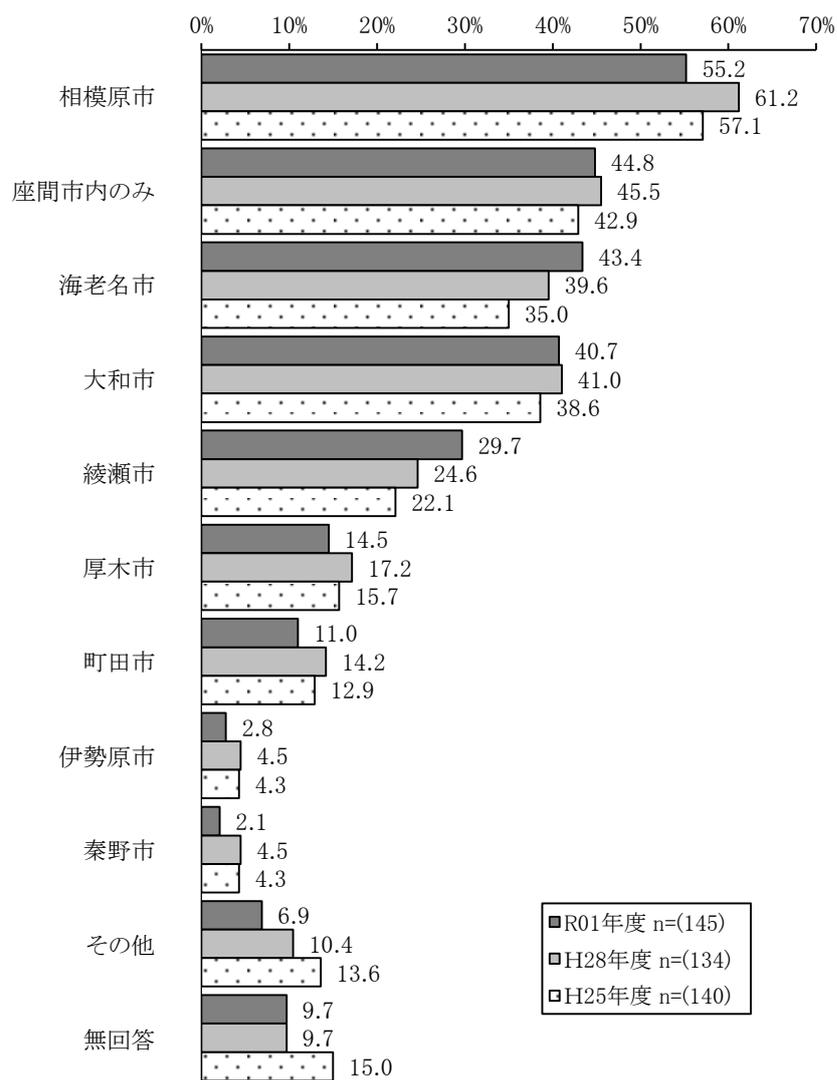
図表2-6-1 現状のサービス提供地域 全体



現状のサービス提供地域については、「相模原市」(59.3%)が最も高かった。以下、「座間市内のみ」(47.6%)、「海老名市」(45.5%)、「大和市」(42.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「海老名市」が3.0ポイント、「綾瀬市」が3.4ポイント、「伊勢原市」が1.8ポイント高く、「相模原市」が7.9ポイント、「厚木市」が2.1ポイント低くなっている。

図表2-6-2 今後の活動希望地域 全体



今後の活動希望地域については、「相模原市」(55.2%)が最も高かった。以下、「座間市内のみ」(44.8%)、「海老名市」(43.4%)、「大和市」(40.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「海老名市」が3.8ポイント、「綾瀬市」が5.1ポイント高く、「相模原市」が6.0ポイント、「厚木市」が2.7ポイント、「町田市」が3.2ポイント、「伊勢原市」が1.7ポイント、「秦野市」が2.4ポイント低くなっている。

(7) 担当している利用者数とそのうち認知症の方の人数

問12 貴事業所で担当している利用者数と、そのうち認知症（日常生活自立度Ⅱ以上）の方の人数を教えてください。（令和元年12月末時点）

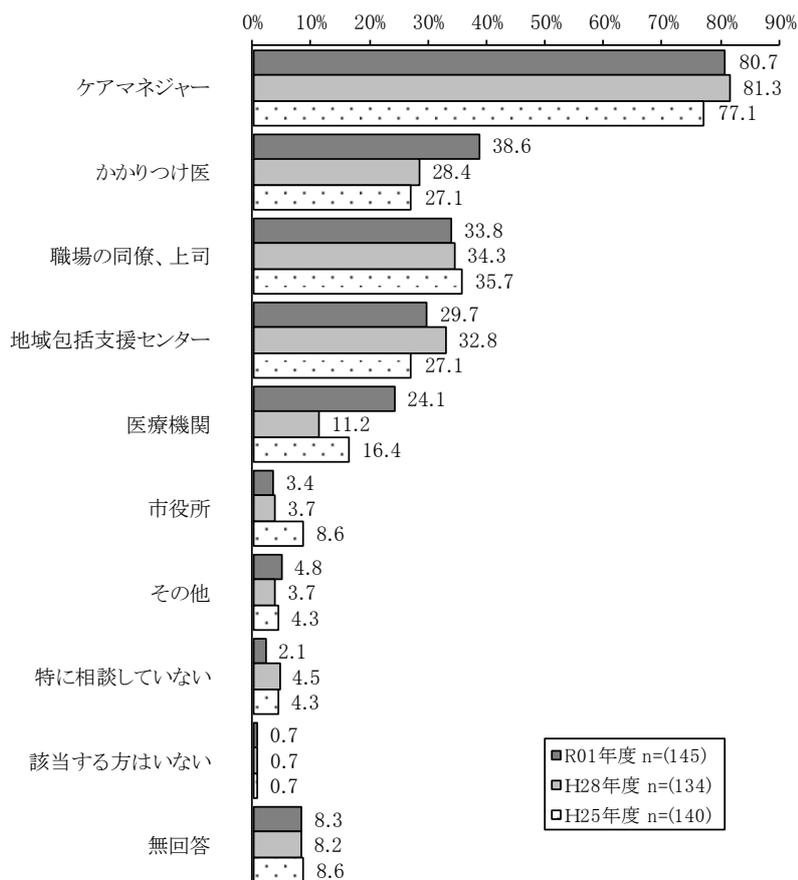
図表2-7-1 担当している利用者数 全体

A	B	C
1事業所当たりの利用者数の 平均値	Aのうち認知症（日常生活自立 度Ⅱ以上）の方の人数の平均値	事業所での認知症患者の出現率 (B÷Aの比率)
123.35人	33.05人	26.8%

(8) 認知症の方についての相談相手・機関

問13 貴事業所で対応している認知症の方について、どなたに相談されますか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表2-8-1 認知症の方についての相談相手・機関 全体



認知症の方についての相談相手・機関については、「ケアマネジャー」(80.7%)が最も高かった。以下、「かかりつけ医」(38.6%)、「職場の同僚、上司」(33.8%)、「地域包括支援センター」(29.7%)となっている。

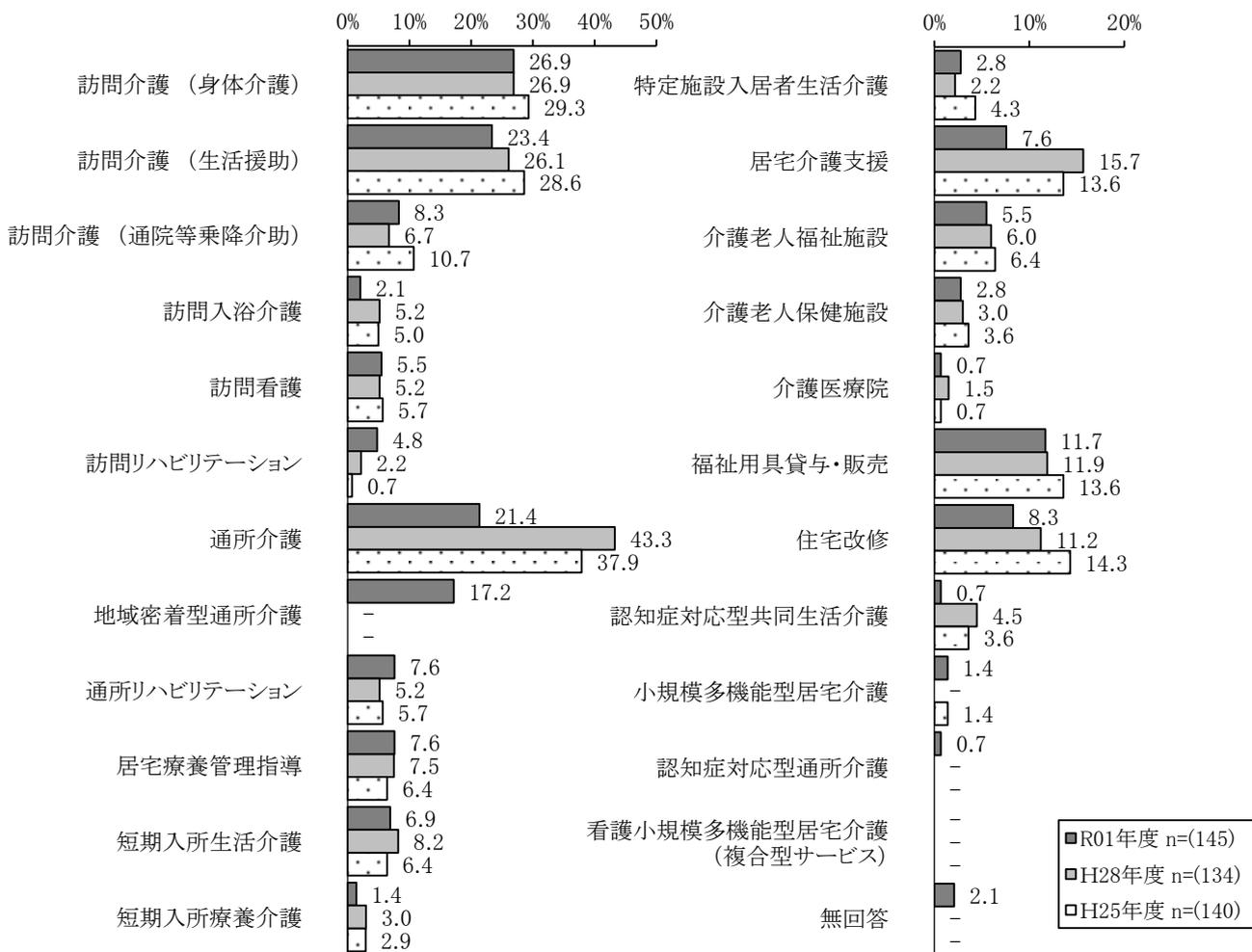
前回調査と比較すると、「かかりつけ医」が10.2ポイント、「医療機関」が12.9ポイント高く、「地域包括支援センター」が3.1ポイント低くなっている。

3. 介護サービスの供給量の実績と対応状況について

(1) 実施サービスとその対応状況

問14 現在実施されているサービスの番号に○印を付けてください。また、そのサービス供給量が利用者の希望に合わせて対応できたかどうか、対応状況についてあてはまるものに1つ○印を付けてください。

図表3-1-1 実施サービス 全体

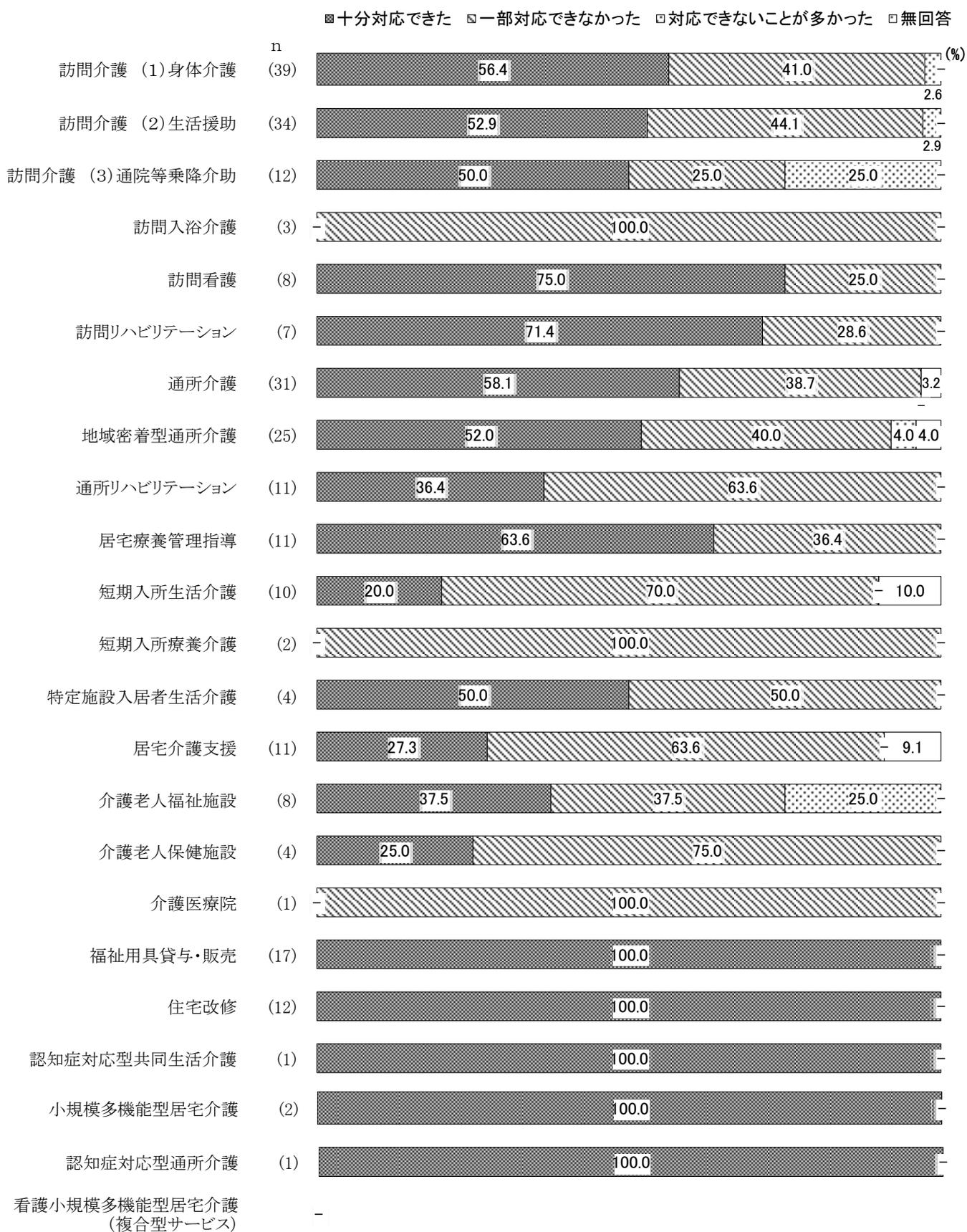


実施サービスについては、「訪問介護（身体介護）」（26.9%）が最も高かった。以下、「訪問介護（生活援助）」（23.4%）、「通所介護」（21.4%）、「地域密着型通所介護」（17.2%）となっている。

前回調査と比較すると、「訪問リハビリテーション」が2.6ポイント、「通所リハビリテーション」が2.4ポイント高く、「訪問介護（生活援助）」が2.7ポイント、「訪問入浴介護」が3.1ポイント、「通所介護」が21.9ポイント、「居宅介護支援」が8.1ポイント、「住宅改修」が2.9ポイント、「認知症対応型共同生活介護」が3.8ポイント低くなっている。

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

図表3-1-2 実施サービスの対応状況 全体

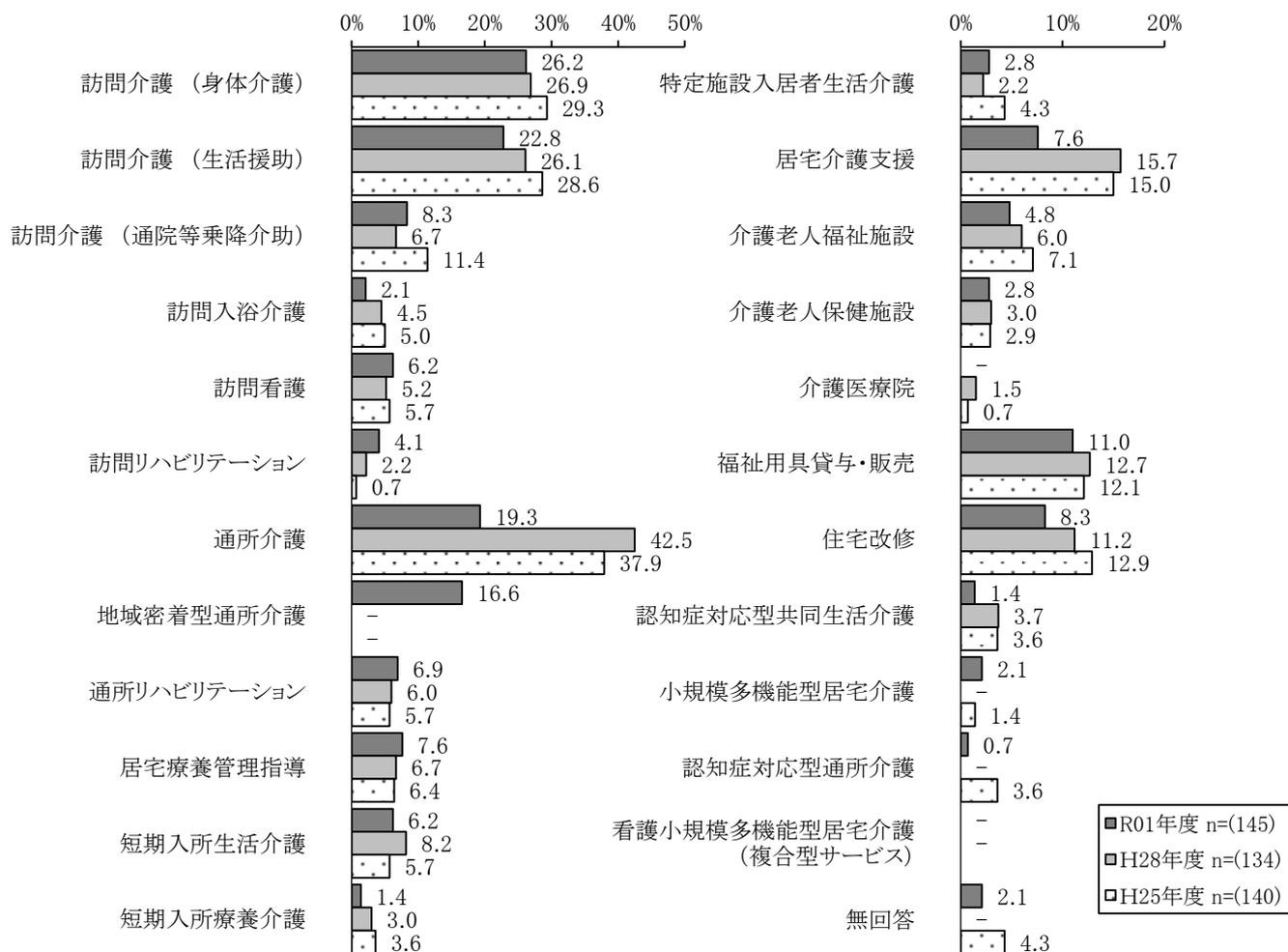


※一部基数が少ないため、参考として掲載

(2) 実施サービスの今後の希望

問15 現在実施されているサービスの今後の方針（希望）について、現在実施されているサービスの番号に○印を付け、該当する欄の1～4のうち1つ○印を付けてください。

図表3-2-1 実施サービスの今後の希望 全体

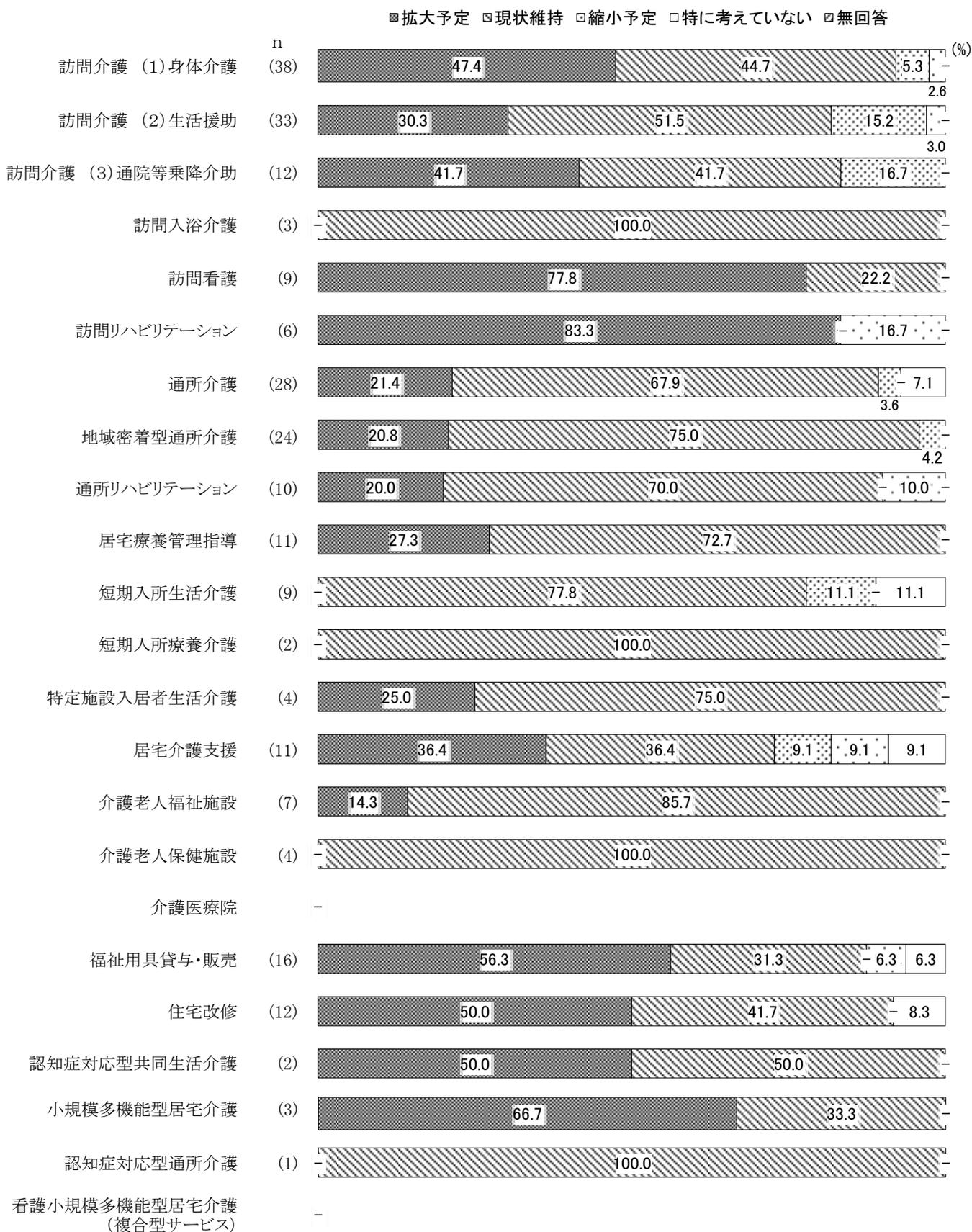


実施サービスについては、「訪問介護（身体介護）」（26.2%）が最も高かった。以下、「訪問介護（生活援助）」（22.8%）、「通所介護」（19.3%）、「地域密着型通所介護」（16.6%）となっている。

前回調査と比較すると、「訪問リハビリテーション」が1.9ポイント高く、「訪問介護（生活援助）」が3.3ポイント、「訪問入浴介護」が2.4ポイント、「通所介護」が23.2ポイント、「短期入所生活介護」が2.0ポイント、「居宅介護支援」が8.1ポイント、「住宅改修」が2.9ポイント、「認知症対応型共同生活介護」が2.3ポイント低くなっている。

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

図表3-2-2 実施サービスの今後の希望 全体



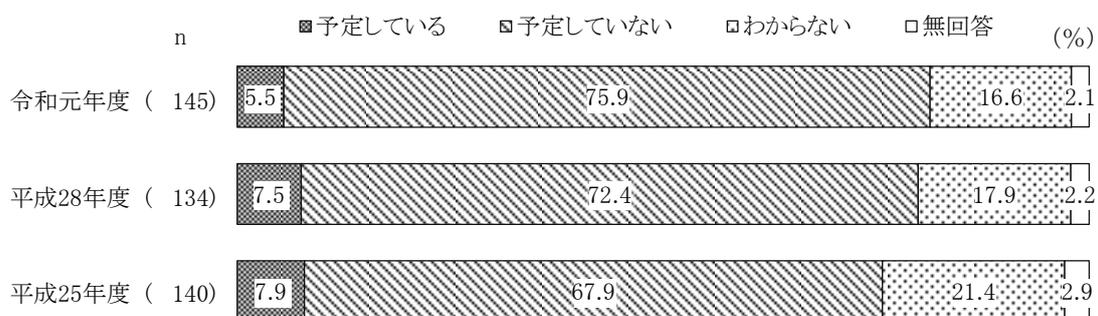
※一部基数が少ないため、参考として掲載

4. 介護サービスにおける新規参入の意向について

(1) 現行の介護サービスの座間市内への新規参入予定

問16 現行の介護サービスについて、座間市内で新規参入の予定がありますか。(○印は1つ)

図表4-1-1 現行の介護サービスの座間市内への新規参入予定 全体



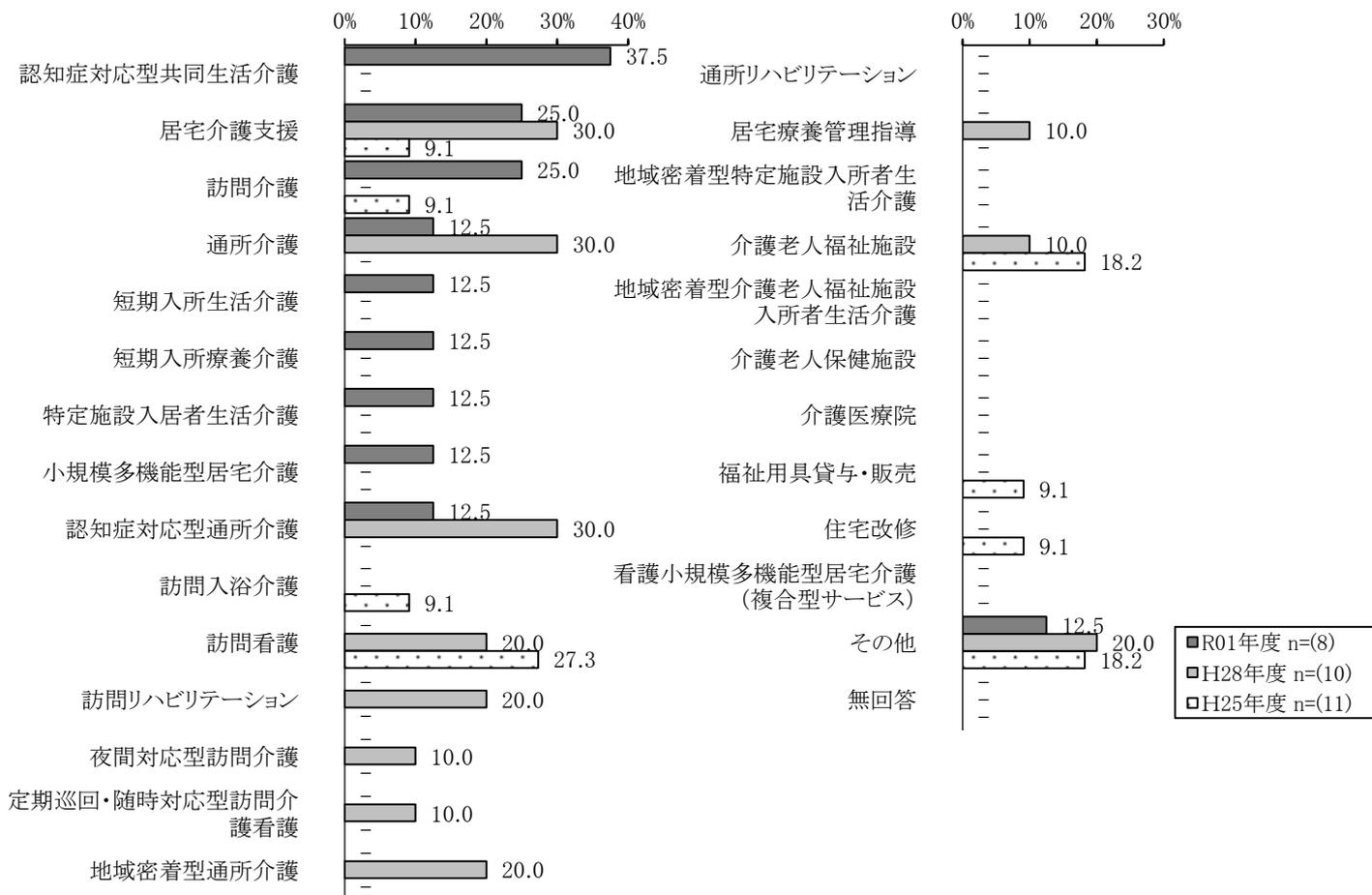
現行介護サービスの座間市内への新規参入予定については、「予定していない」(75.9%)が最も高かった。以下、「わからない」(16.6%)、「予定している」(5.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「予定していない」が3.5ポイント高く、「予定している」が2.0ポイント、「わからない」が1.3ポイント低くなっている。

(2) 新規参入予定の介護サービス

問16-1 問16で「1」と回答した方にお伺いします。
 新規参入を予定している介護サービスは何ですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表4-2-1 新規参入予定の介護サービス 全体



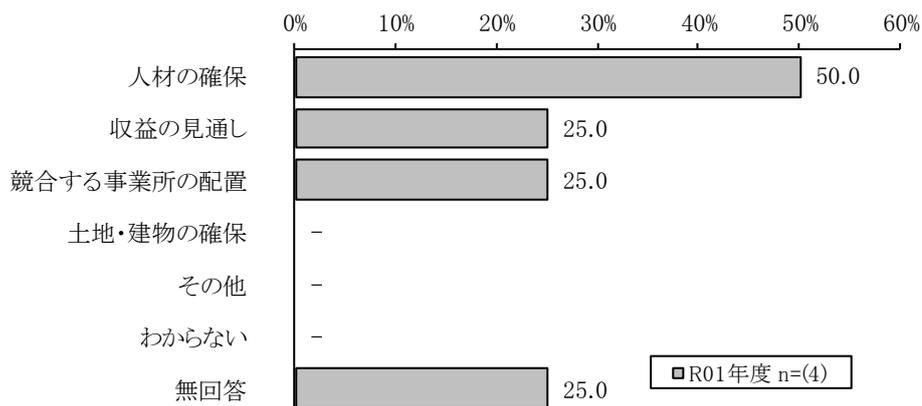
※基数が少ないため、参考として掲載

(3) 座間市内での新規参入の検討課題

問16-2 問16で「1」と回答した方にお伺いします。
 座間市内で新規参入を検討する場合、どのようなことが課題となりますか。
 (あてはまる番号すべてに○印)

①訪問系のサービス（訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハ、居宅介護支援等）

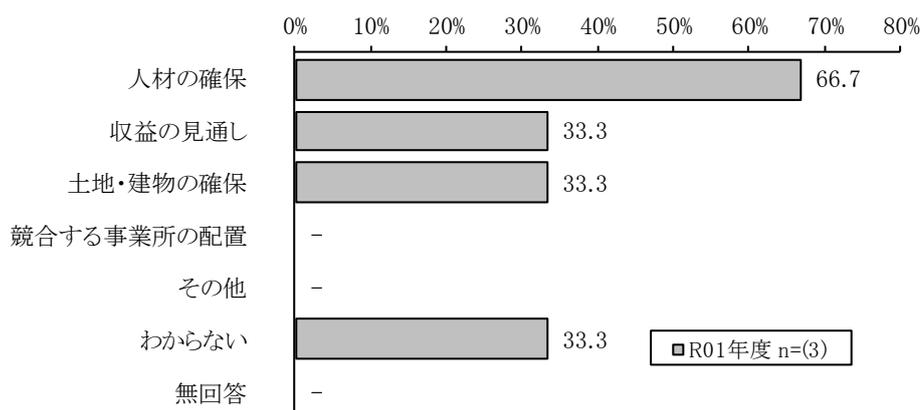
図表4-3-1 訪問系のサービスの検討課題 全体



※基数が少ないため、参考として掲載

②通所系サービス（通所介護、通所リハ等）

図表4-3-2 通所系サービスの場合の検討課題 全体

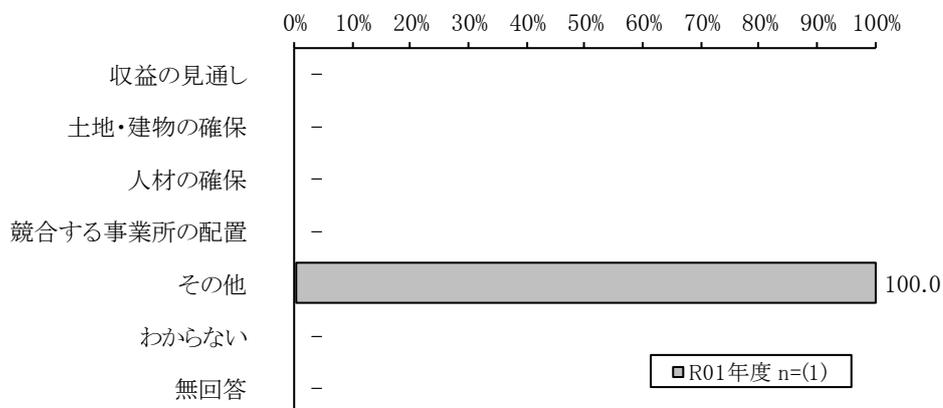


※基数が少ないため、参考として掲載

第6章 介護サービス提供事業所実態調査

③居住系サービス（特定施設）

図表4-3-3 居住系サービスの検討課題 全体



※基数が少ないため、参考として掲載

④入所系サービス（介護保険3施設）

図表4-3-4 入所系サービスの検討課題 全体

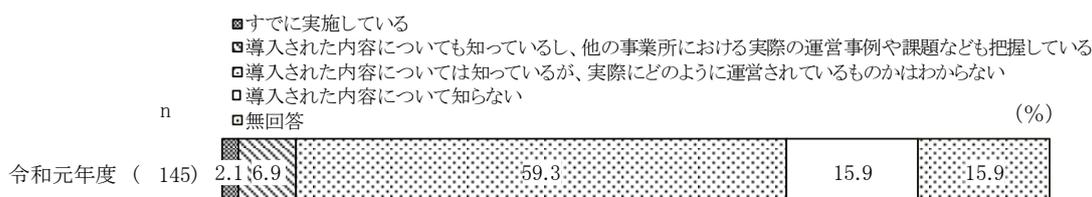
		(%)						
	n	収益の見通し	土地・建物の確保	人材の確保	競合する事業所の配置	その他	わからない	無回答
令和元年度	0	-	-	-	-	-	-	-

※基数が少ないため、参考として掲載

(4) 「共生型サービス」の認知度

問17 平成30年4月の介護保険法改正に伴い、高齢者等向けの介護保険サービスと障害児・者向けの障害福祉サービスの両方を行う新たなサービスとして「共生型サービス」が導入されました。これらの内容についてご存知ですか。(○印は1つ)

図表4-4-1 「共生型サービス」の認知度 全体

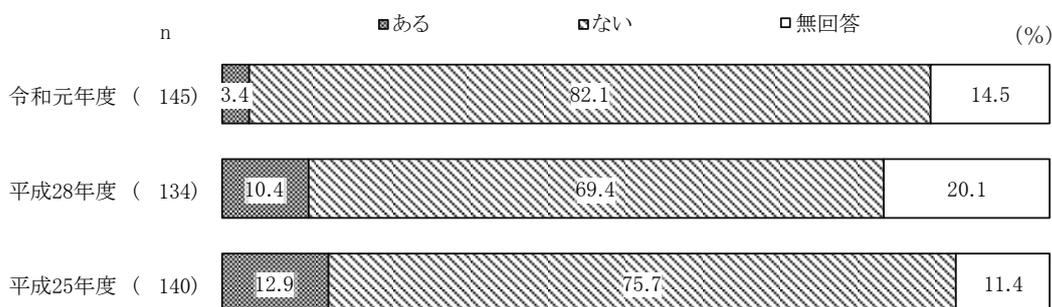


「共生型サービス」の認知度については、「導入された内容については知っているが、実際にどのように運営されているものかはわからない」(59.3%)が最も高かった。以下、「導入された内容について知らない」(15.9%)、「導入された内容についても知っているし、他の事業所における実際の運営事例や課題なども把握している」(6.9%)、「すでに実施している」(2.1%)となっている。

(5) 介護サービス以外で、今後の高齢社会に向けた事業展開を考えているサービス

問18 介護サービス以外で、今後の高齢社会に向けた事業展開を考えているサービスがありますか。(○印は1つ)

図表4-5-1 介護サービス以外で、今後の高齢社会に向けた事業展開を考えているサービス 全体



介護サービス以外で、今後の高齢社会に向けた事業展開を考えているサービスについては、「ない」が82.1%を占めていた。一方、「ある」は3.4%となっている。

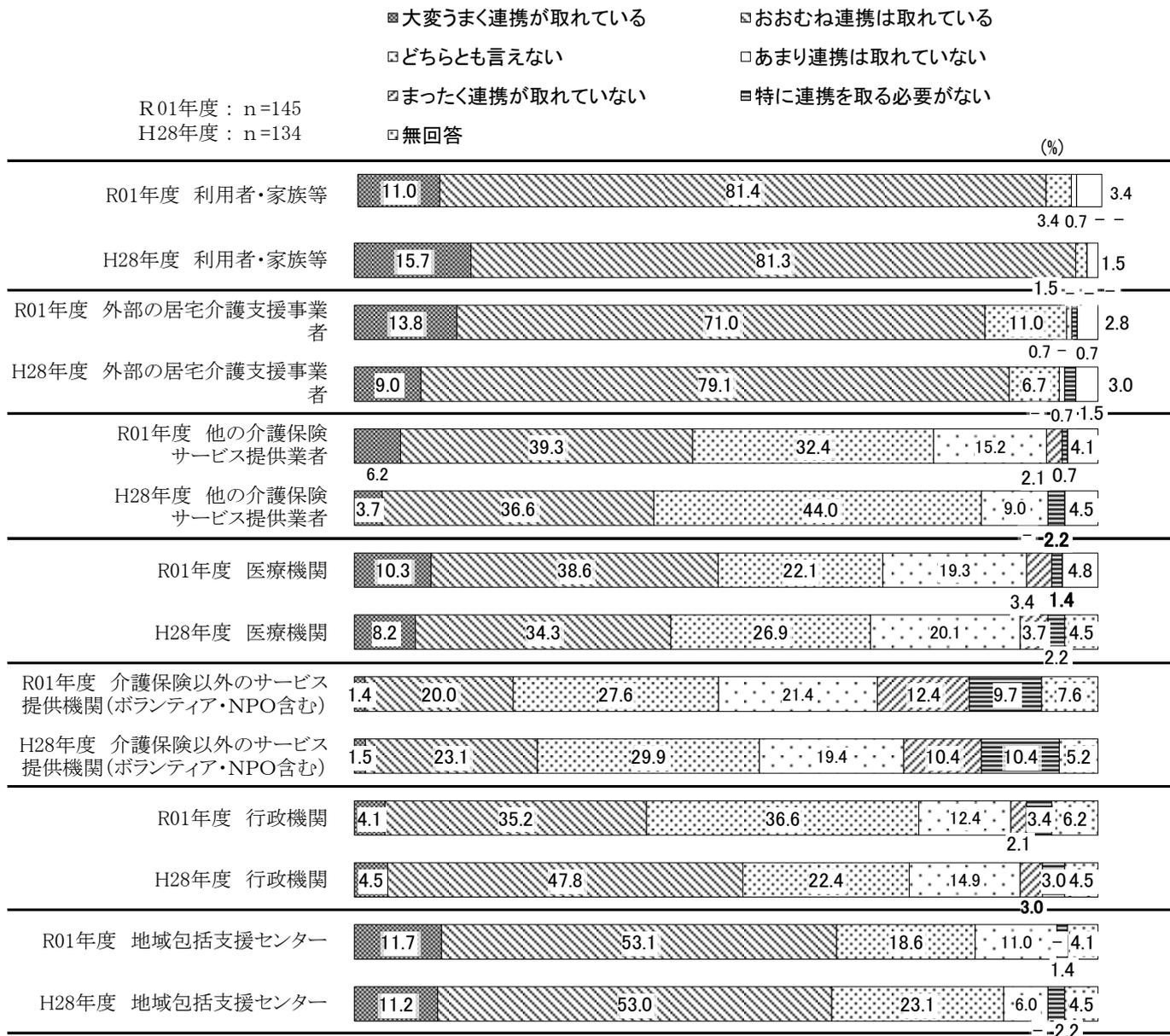
前回調査と比較すると、「ない」が12.7ポイント高く、「ある」が7.0ポイント低くなっている。

5. 諸機関との連携と質の向上に関する取り組みについて

(1) サービス実施時の外部の諸機関との連携

問19 サービス実施時の外部の諸機関との連携について、どのようにお感じになっていますか。下表の(1)～(7)について、それぞれ1つ○印を付けてください。

図表5-1-1 サービス実施時の外部の諸機関との連携 全体



サービス実施時の外部の諸機関との連携については、「大変うまく連携が取れている」と「おおむね連携は取れている」を合わせた『連携が取れている』と回答した割合の高い項目が、「利用者・家族等」（92.4%）、「外部の居宅介護支援事業者」（84.8%）、「地域包括支援センター」（64.8%）となっている。一方、「あまり連携は取れていない」と「まったく連携が取れていない」を合わせた『連携が取れていない』と回答した割合の高い項目が、「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）」（33.8%）、「医療機関」（22.7%）、「他の介護保険サービス提供者」（17.3%）となっている。

前回調査と比較すると、『連携が取れている』については「医療機関」が6.4ポイント高く、「行政機関」が13.0ポイント低くなっている。一方、『連携が取れていない』については「他の介護保険サービス提供者」が8.3ポイント高くなっている。

（2）介護予防プランの委託を受けているか

問20 あなたは介護予防プランの委託を受けていますか。（○印は1つ）

図表5-2-1 介護予防プランの委託を受けているか 全体

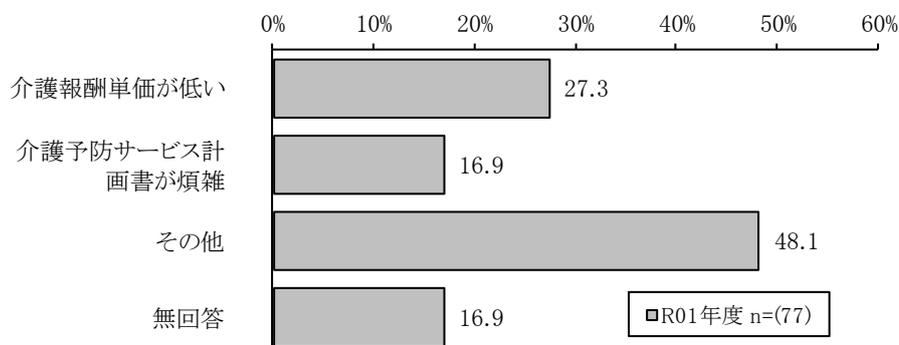


介護予防プランの委託を受けているかについては、「いない」が53.1%を占めていた。一方、「いる」は35.9%となっている。

（3）介護予防実施プランの委託を受けていない理由

問20-1 問20で「2. いない」と回答した方のみお答えください。
委託を受けていない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○印）

図表5-3-1 介護予防実施プランの委託を受けていない理由 全体

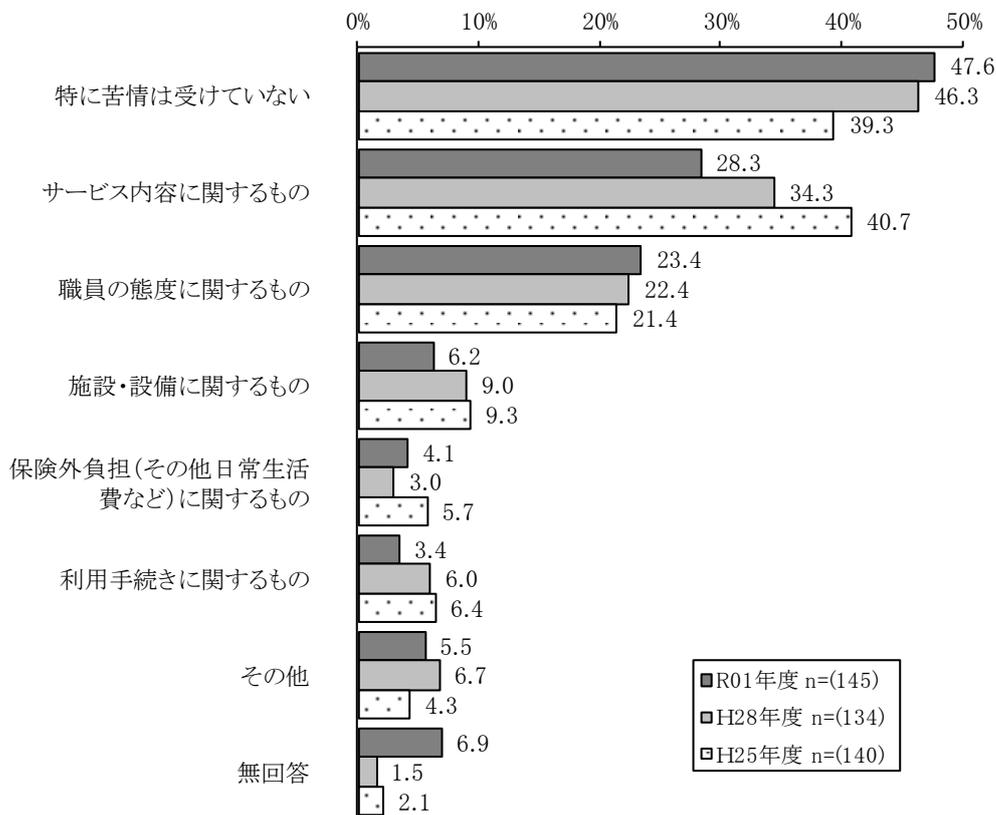


介護予防実施プランの委託を受けていない理由については、「介護報酬単価が低い」（27.3%）、「介護予防サービス計画書が煩雑」（16.9%）となっている。

(4) サービス実施時の利用者や家族からの苦情

問21 サービス実施時において、これまで利用者や家族からどのような苦情を受けていますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表5-4-1 サービス実施時の利用者や家族からの苦情 全体



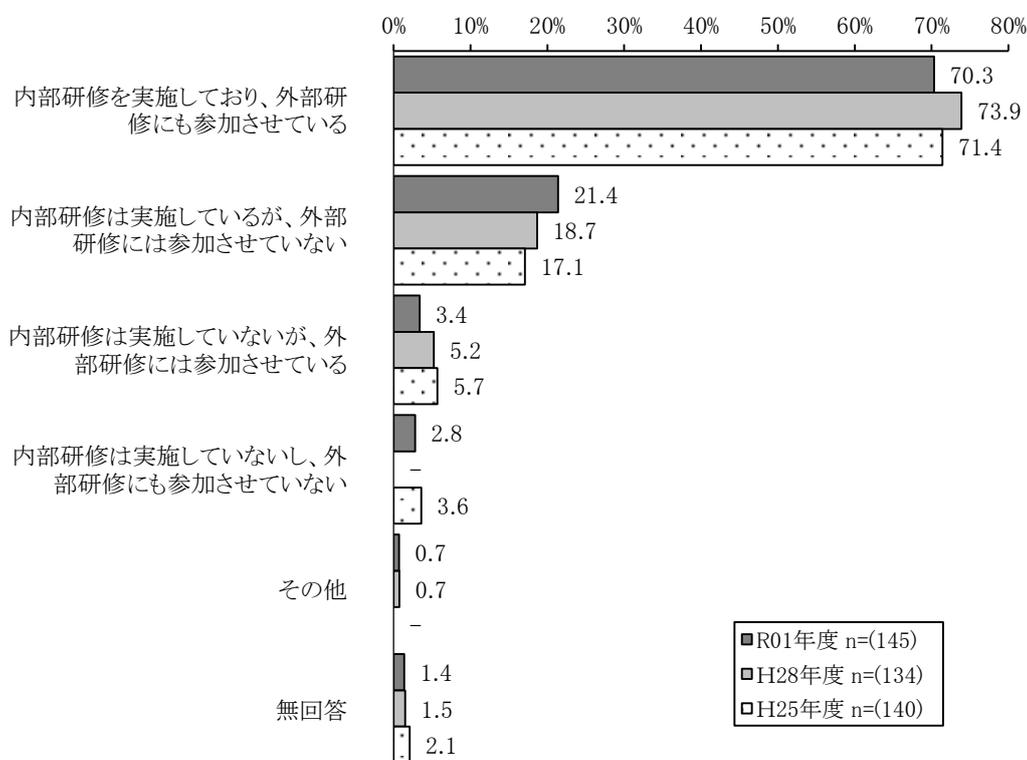
サービス実施時の利用者や家族からの苦情については、「特に苦情は受けていない」(47.6%)が最も高かった。以下、「サービス内容に関するもの」(28.3%)、「職員の態度に関するもの」(23.4%)、「施設・設備に関するもの」(6.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「サービスの内容に関するもの」が6.0ポイント、「施設・設備に関するもの」が2.8ポイント、「利用手続きに関するもの」が2.6ポイント低くなっている。

(5) 職員に対する社内・社外研修

問22 職員に対する社内・社外研修についてお伺いします。(○印は1つ)

図表5-5-1 職員に対する社内・社外研修 全体



職員に対する社内・社外研修については、「内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている」(70.3%)が最も高かった。以下、「内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない」(21.4%)、「内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている」(3.4%)、「内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない」(2.8%)となっている。

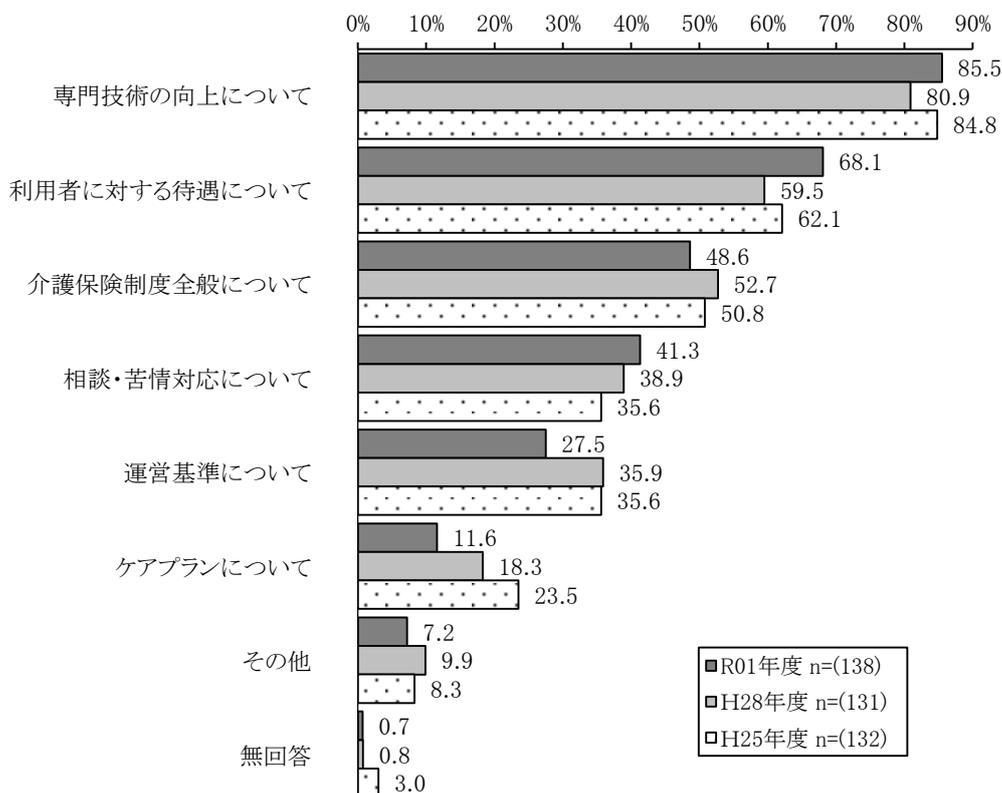
前回調査と比較すると、「内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない」が2.7ポイント、「内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない」が2.8ポイント高く、「内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている」が3.6ポイント、「内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている」が1.8ポイント低くなっている。

(6) 職員に対する社内・社外研修の内容

問22-1 問22で「1」「2」「3」と回答した方にお伺いします。

どのような内容の研修を実施されていますか。もしくはどのような研修に参加させていますか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表5-6-1 職員に対する社内・社外研修の内容 全体



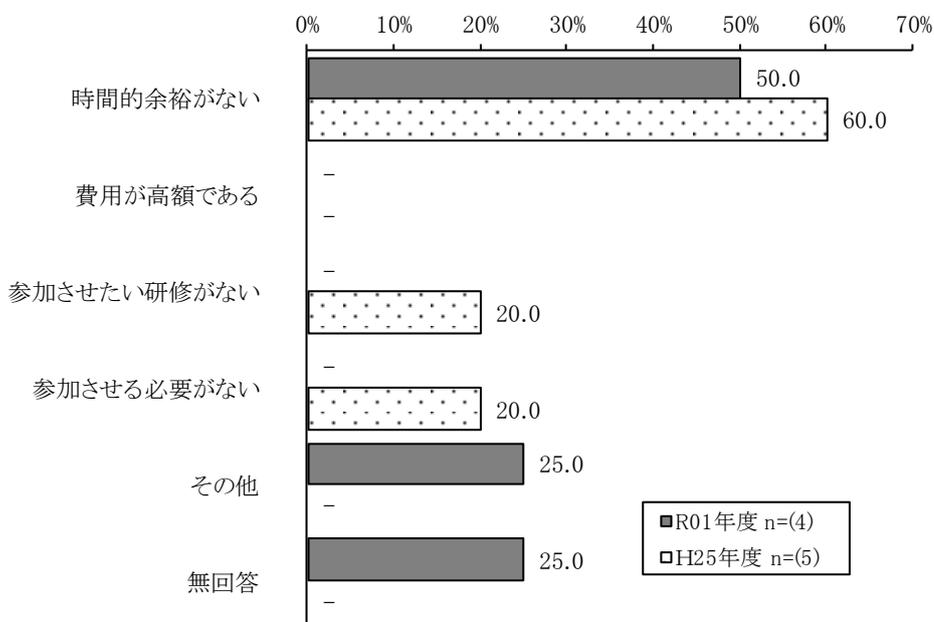
研修の内容については、「専門技術の向上について」(85.5%)が最も高かった。以下、「利用者に対する待遇について」(68.1%)、「介護保険制度全般について」(48.6%)、「相談・苦情対応について」(41.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「専門技術の向上について」が4.6ポイント、「利用者に対する待遇について」が8.6ポイント、「相談・苦情対応について」が2.4ポイント高く、「介護保険制度全般について」が4.1ポイント、「運営基準について」が8.4ポイント、「ケアプランについて」が6.7ポイント低くなっている。

(7) 社内・社外研修を実施していない理由

問22-2 問22で「4」と回答した方にお伺いします。
 研修等を実施していない理由は何ですか。(○印は1つ)

図表5-7-1 社内・社外研修を実施していない理由 全体

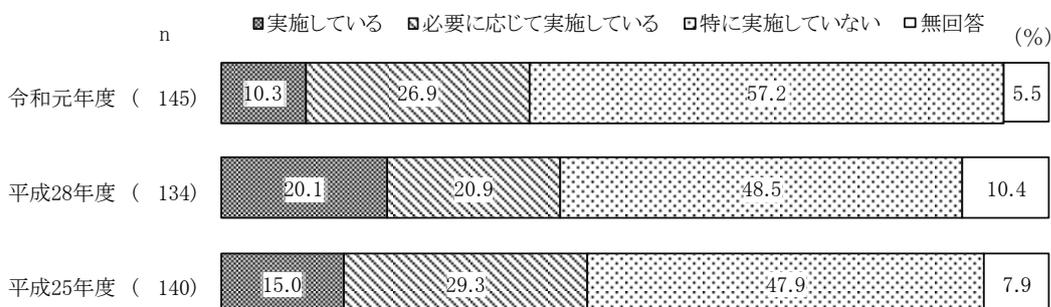


※基数が少ないため、参考として掲載

(8) 外部機関が作成したプログラム等の利用

問23 サービスの質の確保や向上に向けて、外部機関が作成したプログラム等を利用して、自己評価をされていますか。(○印は1つ)

図表5-8-1 外部機関が作成したプログラム等の利用 全体



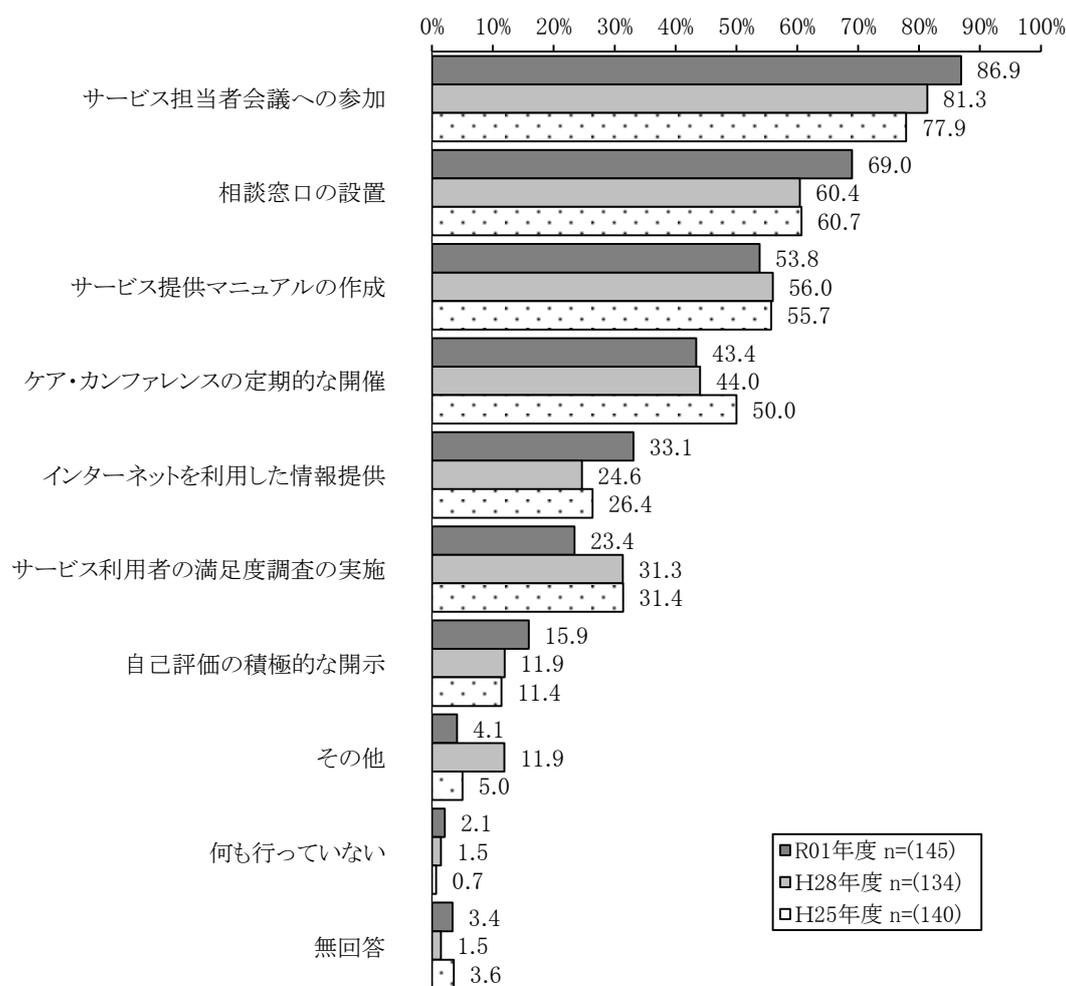
外部機関が作成したプログラム等の利用については、「特に実施していない」57.2%が最も高かった。以下、「必要に応じて実施している」26.9%、「実施している」10.3%となっている。

前回調査と比較すると、「必要に応じて実施している」が6.0ポイント、「特に実施していない」が8.7ポイント高く、「実施している」が9.8ポイント低くなっている。

(9) サービスの質の向上のための取り組み

問24 サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表5-9-1 サービスの質の向上のための取り組み 全体



サービスの質の向上のための取り組みについては、「サービス担当者会議への参加」(86.9%)が最も高かった。以下、「相談窓口の設置」(69.0%)、「サービス提供マニュアルの作成」(53.8%)、「ケア・カンファレンスの定期的な開催」(43.4%)となっている。

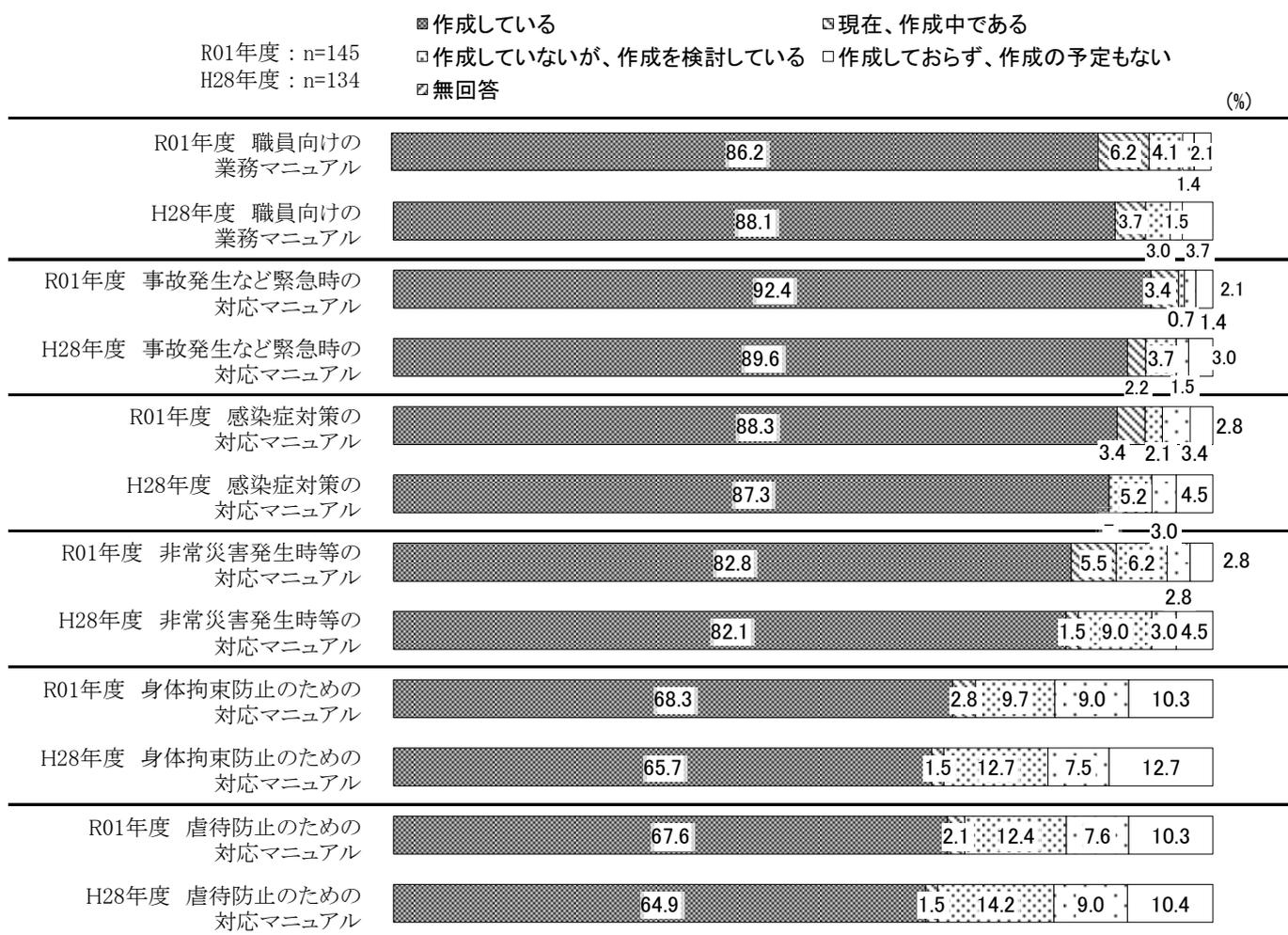
前回調査と比較すると、「サービス担当者会議への参加」が5.6ポイント、「相談窓口の設置」が8.6ポイント、「インターネットを利用した情報提供」が8.5ポイント、「自己評価の積極的な開示」が4.0ポイント高く、「サービス提供マニュアルの作成」が2.2ポイント、「サービス利用者の満足度調査の実施」が7.9ポイント低くなっている。

(10) 各種マニュアルの作成状況

問25 各種マニュアルの作成状況について、下表の(1)～(6)のそれぞれについて1～4のうち1つ○印を付けてください。

※身体拘束防止及び虐待防止のための対応マニュアルについては、介護保険施設、通所系事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入所者生活介護事業所のみお答えください。

図表5-10-1 各種マニュアルの作成状況 全体



各種マニュアルの作成状況については、「作成している」と回答した割合の高い項目が、「事故発生など緊急時の対応マニュアル」(92.4%)、「感染症対策の対応マニュアル」(88.3%)、「職員向けの業務マニュアル」(86.2%)となっている。一方、「作成していないが、作成を検討している」と回答した割合の高い項目が、「虐待防止のための対応マニュアル」(12.4%)となっている。

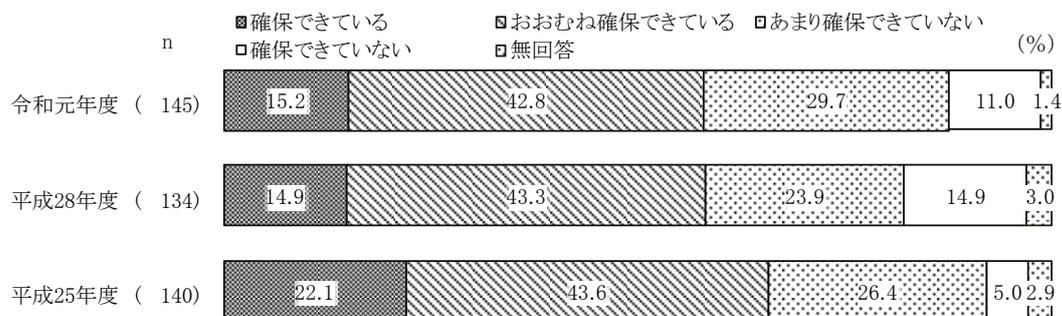
前回調査と比較すると、「非常災害発生時等の対応マニュアル」については「現在、作成中である」が4.0ポイント高くなっている。

6. 事業所の運営等について

(1) この1年間の介護人材の確保状況

問26 この1年間、貴事業所の介護人材の確保状況はどうか。(○印は1つ)

図表6-1-1 この1年間の介護人材の確保状況 全体



この1年間の介護人材の確保状況については、「おおむね確保できている」(42.8%)が最も高く、「確保できている」(15.2%)と合わせた『確保できている』は58.0%を占めていた。一方、「あまり確保できていない」(29.7%)と「確保できていない」(11.0%)を合わせた『確保できていない』は40.7%となっている。

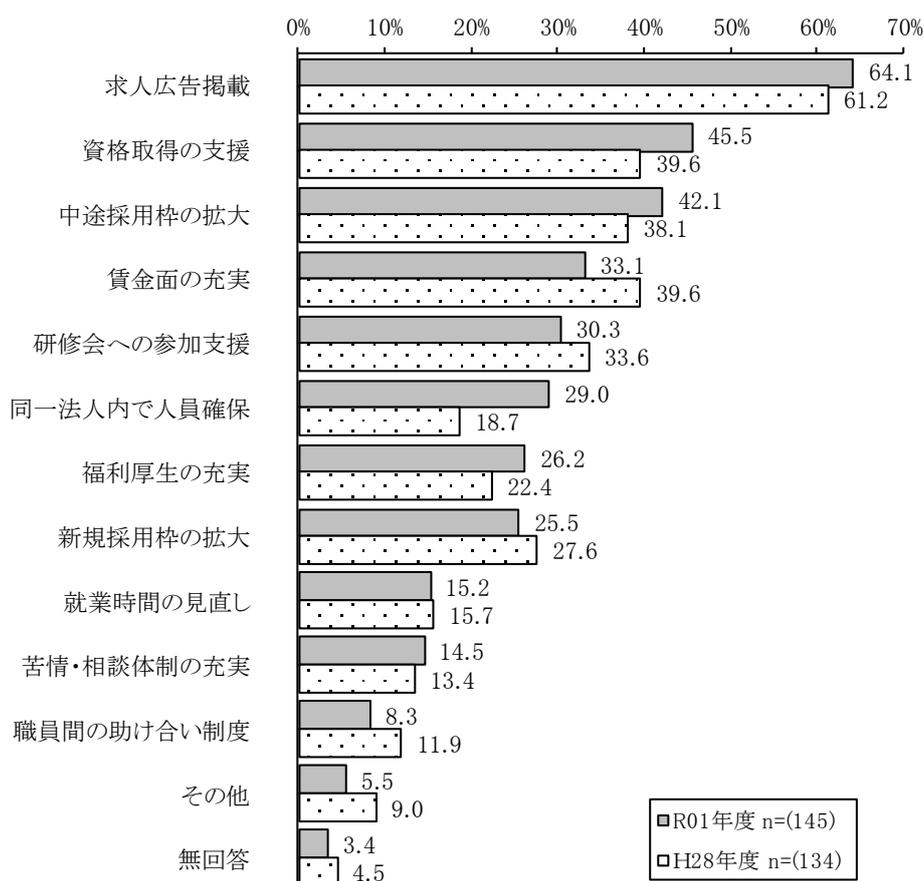
前回調査と比較すると、「あまり確保できていない」が5.8ポイント高く、「確保できていない」が3.9ポイント低くなっている。

(2) 人材確保の取り組み

問27 貴事業所は人材を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

①現在の取り組み

図表6-2-1 人材確保の取り組み-現在 全体

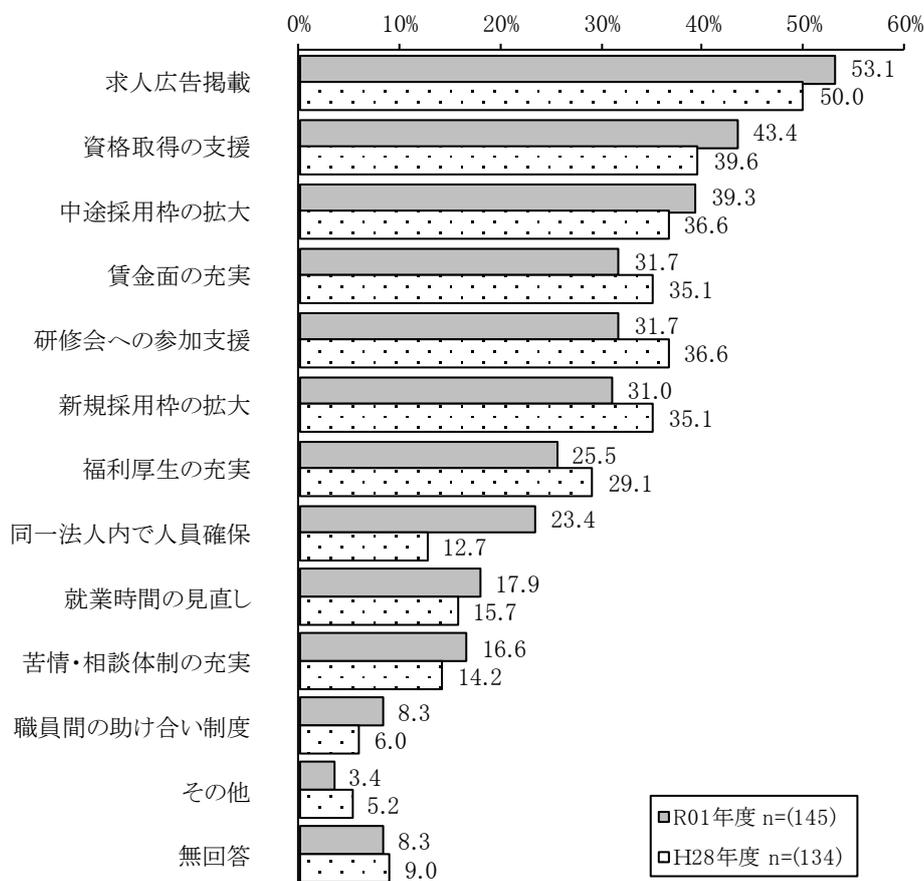


人材確保のための現在の取り組みについては、「求人広告掲載」(64.1%)が最も高かった。以下、「資格取得の支援」(45.5%)、「中途採用枠の拡大」(42.1%)、「賃金面の充実」(33.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「求人広告掲載」が2.9ポイント、「資格取得の支援」が5.9ポイント、「中途採用枠の拡大」が4.0ポイント、「同一法人内で人員確保」が10.3ポイント、「福利厚生面の充実」が3.8ポイント高く、「賃金面の充実」が6.5ポイント、「研修会への参加支援」が3.3ポイント、「職員間の助け合い制度」が3.6ポイント低くなっている。

②今後の取り組み

図表6-2-2 人材確保の取り組み-今後 全体



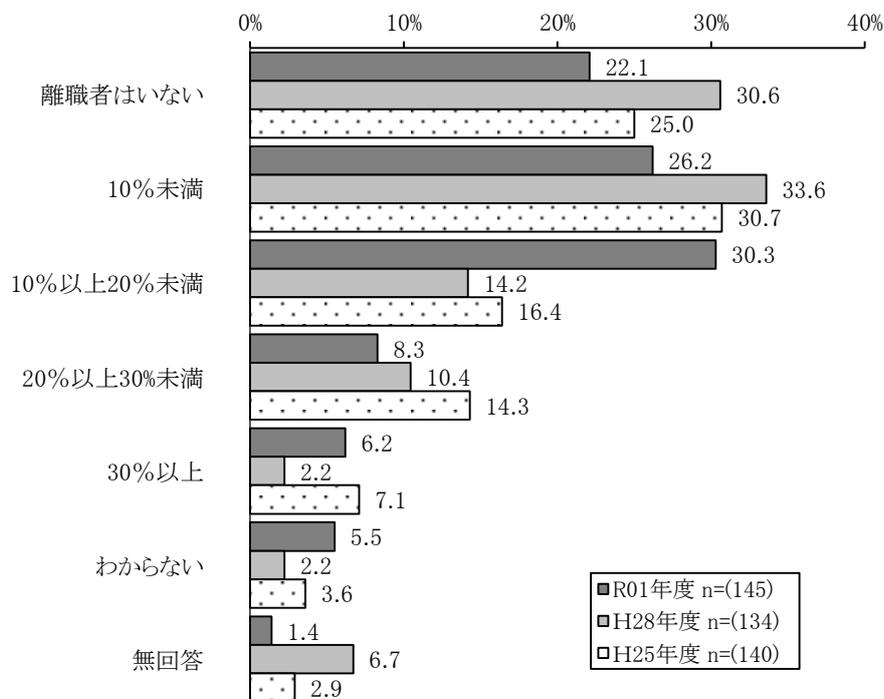
人材確保のための今後の取り組みについては、「求人広告掲載」(53.1%)が最も高かった。以下、「資格取得の支援」(43.4%)、「中途採用枠の拡大」(39.3%)、「賃金面の充実」(31.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「求人広告掲載」が3.1ポイント、「資格取得の支援」が3.8ポイント、「中途採用枠の拡大」が2.7ポイント、「同一法人内で人員確保」が10.7ポイント、「就業時間の見直し」が2.2ポイント、「苦情・相談体制の充実」が2.4ポイント、「職員間の助け合い制度」が2.3ポイント高く、「賃金面の充実」が3.4ポイント、「研修会への参加支援」が4.9ポイント、「新規採用枠の拡大」が4.1ポイント、「福利厚生面の充実」が3.6ポイント低くなっている。

(3) この1年間の介護職員の離職率

問28 この1年間、貴事業所の介護職員の離職率はどのくらいですか。(○印は1つ)

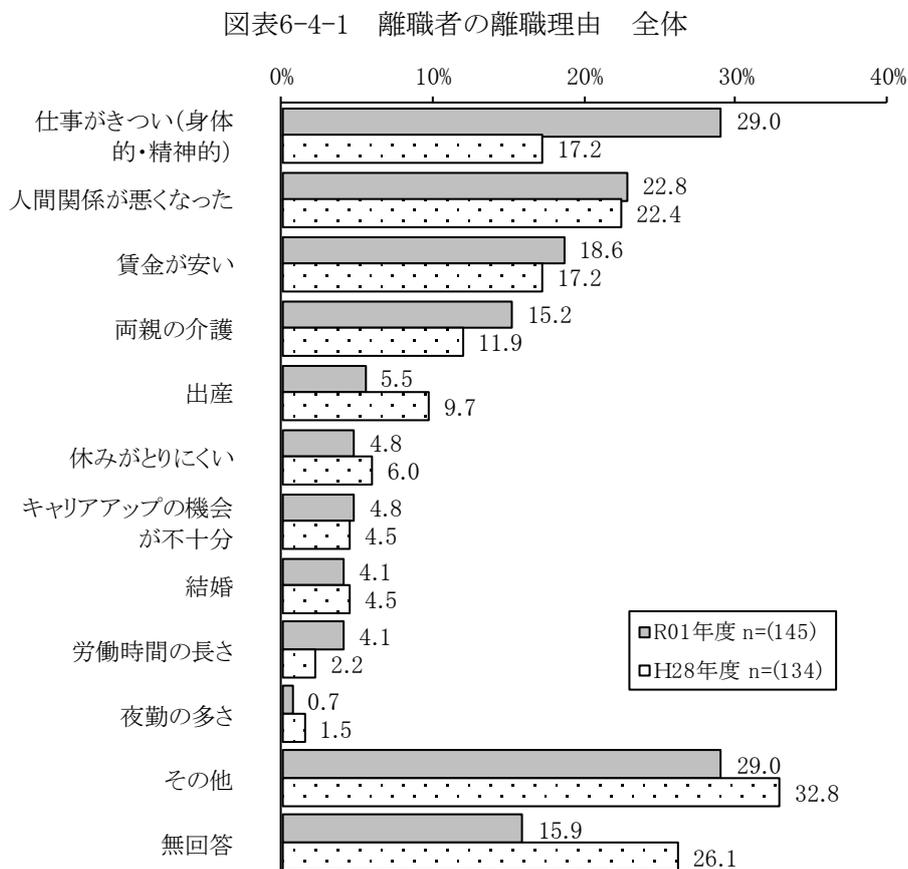
図表6-3-1 この1年間の介護職員の離職率 全体



この1年間の介護職員の離職率については、「10%以上20%未満」(30.3%)が最も高かった。以下、「10%未満」(26.2%)、「離職者はいない」(22.1%)、「20%以上30%未満」(8.3%)となっている。前回調査と比較すると、「10%以上20%未満」が16.1ポイント、「30%以上」が4.0ポイント高く、「離職者はいない」が8.5ポイント、「10%未満」が7.4%低くなっている。

(4) 離職者の離職理由

問29 貴事業所での離職者の離職理由（定年退職・会社都合退職は除く）はどのようなものですか。（あてはまる番号すべてに○印）



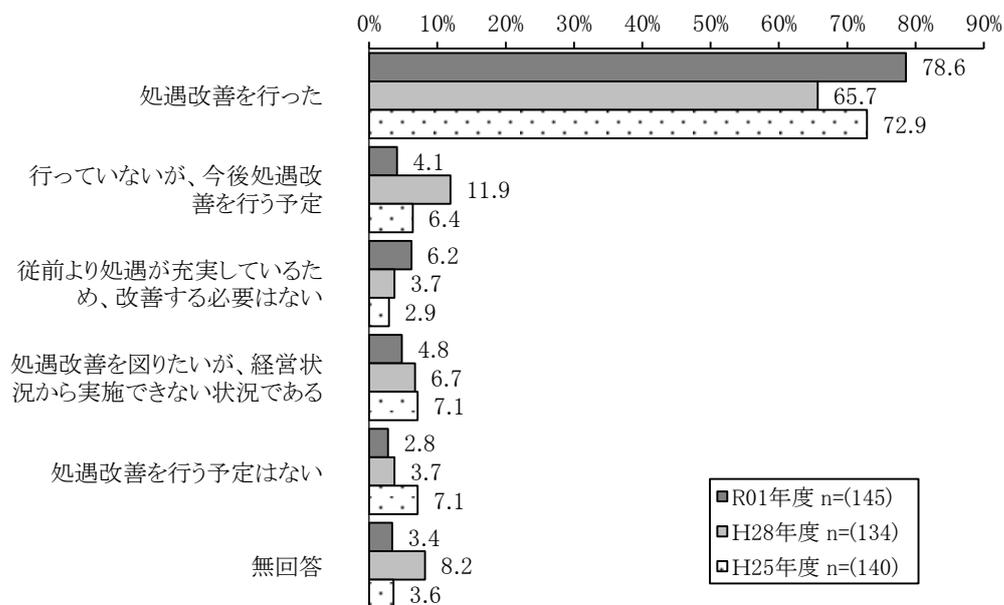
離職者の離職理由については、具体的な選択肢の中では「仕事がつい（身体的・精神的）」（29.0%）が最も高かった。以下、「人間関係が悪くなった」（22.8%）、「賃金が安い」（18.6%）、「両親の介護」（15.2%）となっている。その他として挙げられているものでは、「他事業への転職」や「本人の体調・体力による」などの記載が多かった。

前回調査と比較すると、「仕事がつい（身体的・精神的）」が11.8%、「両親の介護」が3.3ポイントと高く、「出産」が4.2ポイント低くなっている。

(5) 介護職員の処遇改善の実施

問30 貴事業所では、介護職員の処遇改善(給与や時給単価のアップなど)を行いましたか。
(○印は1つ)

図表6-5-1 介護職員の処遇改善の実施 全体



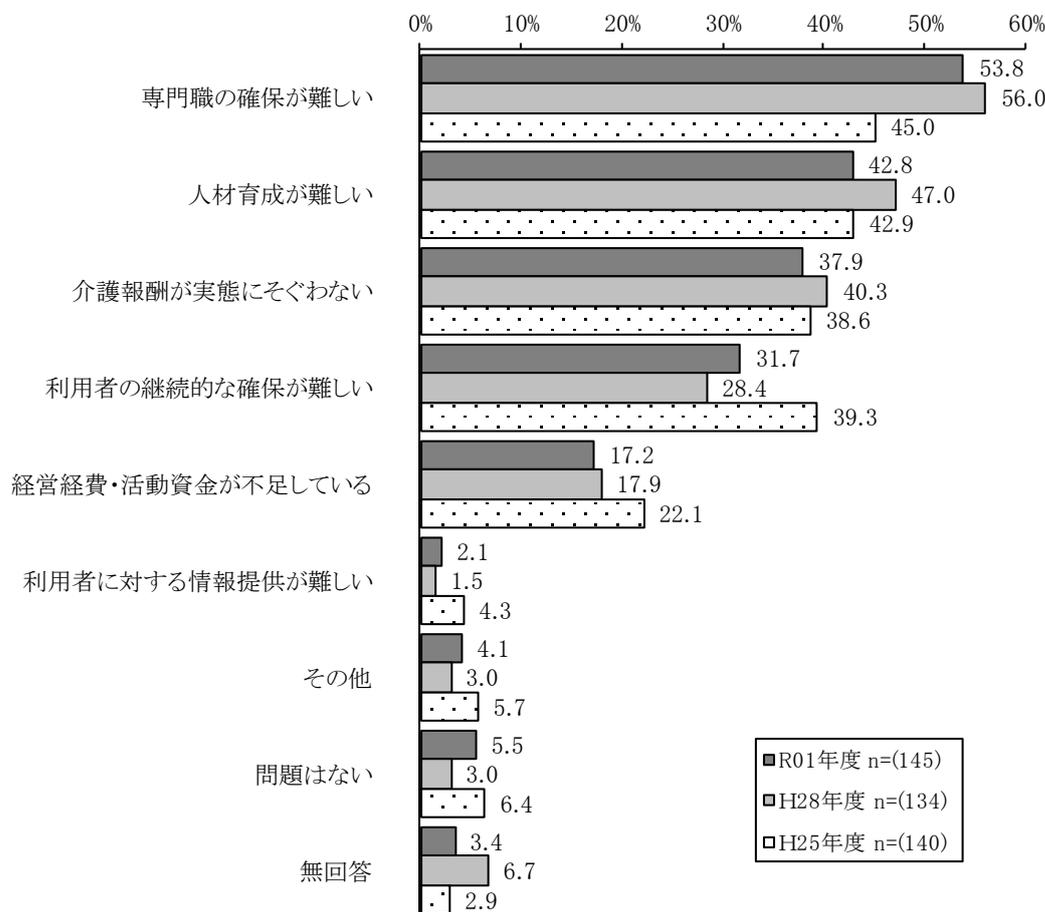
介護職員の処遇改善の実施については、「処遇改善を行った」(78.6%)が最も高かった。以下、「従前より処遇が充実しているため、改善する必要はない」(6.2%)、「処遇改善を図りたいが、経営状況から実施できない状況である」(4.8%)、「行っていないが、今後処遇改善を行う予定」(4.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「処遇改善を行った」が12.9ポイント、「従前より処遇が充実しているため、改善する必要はない」が2.5ポイント高く、「行っていないが、今後処遇改善を行う予定」が7.8ポイント低くなっている。

(6) 事業所運営の問題点

問31 事業所運営に関して問題があると考えているものは次のうちどれですか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表6-6-1 事業所運営の問題点 全体



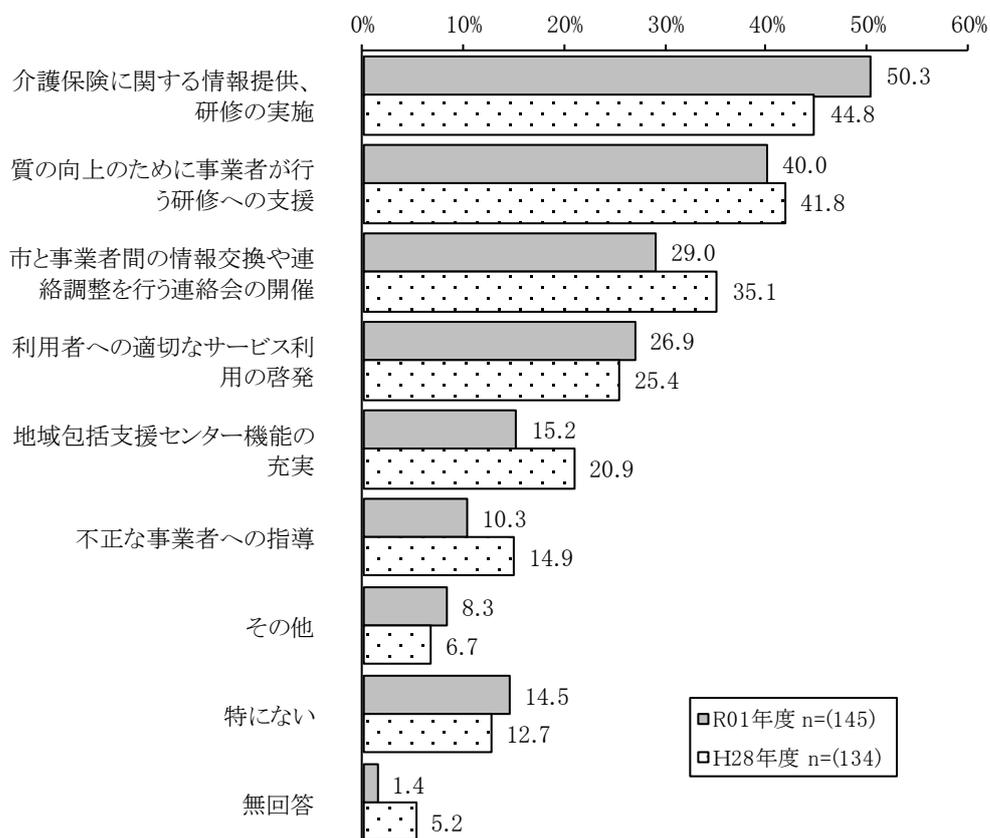
事業所運営の問題点については、「専門職の確保が難しい」(53.8%)が最も高かった。以下、「人材育成が難しい」(42.8%)、「介護報酬が実態にそぐわない」(37.9%)、「利用者の継続的な確保が難しい」(31.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「利用者の継続的な確保が難しい」が3.3ポイント高く、「専門職の確保が難しい」が2.2ポイント、「人材育成が難しい」が4.2ポイント、「介護報酬が実態にそぐわない」が2.4ポイント低くなっている。

(7) 座間市に対し、事業者として望むこと

問32 今後座間市に対し、事業者として望むことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○印)

図表6-7-1 座間市に対し、事業者として望むこと 全体



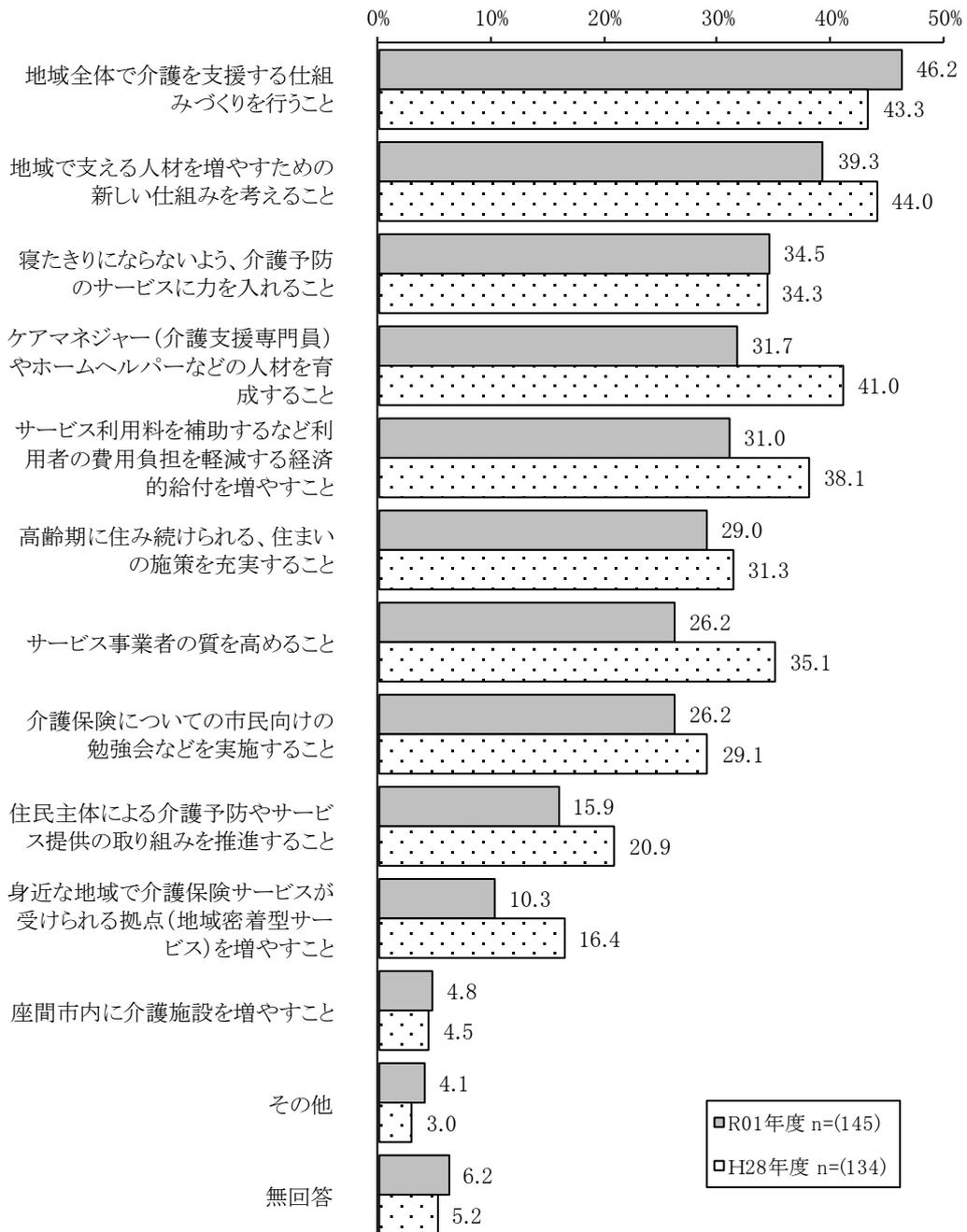
座間市に対し、事業者として望むことについては、「介護保険に関する情報提供、研修の実施」(50.3%)が最も高かった。以下、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」(40.0%)、「市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催」(29.0%)、「利用者への適切なサービス利用の啓発」(26.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「介護保険に関する情報提供、研修の実施」が5.5ポイント高く、「市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催」が6.1ポイント、「地域包括支援センター機能の充実」が5.7ポイント、「不正な事業者への指導」が4.6ポイント低くなっている。

(8) 「介護保険制度」全体をよりよくするために市が力を入れるべきこと

問33 「介護保険制度」全体をよりよくするために、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○印)

図表6-8-1 「介護保険制度」全体をよりよくするために市が力をいれるべきこと 全体



「介護保険制度」全体をよりよくするために市が力を入れるべきことについては、「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと」(46.2%)が最も高かった。以下、「地域で支える人材を増やすための新しい仕組みを考えること」(39.3%)、「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること」(34.5%)、「ケアマネジャー(介護支援専門員)やホームヘルパーなどの人材を育成すること」(31.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと」が2.9ポイント高く、「地域で支える人材を増やすための新しい仕組みを考えること」が4.7ポイント、「ケアマネジャー(介護支援専門員)やホームヘルパーなどの人材を育成すること」が9.3ポイント、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」が7.1ポイント、「高齢者に住み続けられる、住まいの施策を充実すること」は2.3ポイント、「サービス事業者の質を高めること」が8.9ポイント、「介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること」が2.9ポイント、「住民主体による介護予防やサービス提供の取り組みを推進すること」が5.0ポイント、「身近な地域で介護保険サービスを受けられる拠点(地域密着型サービス)をふやすこと」が6.1ポイント低くなっている。

7. 自由回答

問34 介護保険や高齢者保健福祉のことで、ご意見があれば、ご自由にご記入下さい。

事業運営上あるいはサービス提供上のことについて、21事業所からの回答があった。大分類ごとに、主な意見を示す。なお、内容は意見の趣旨を損なわないよう一部要約したものもある。

市・行政の支援、指導	介護人材・職員待遇	情報提供
15	4	2

【市・行政の支援、指導】

- ・介護の仕事は大好きですが、運営する上での書類・約束事が多い。
- ・介護タクシーを展開していますが、各利用者様からのニーズが高まり、要望が高く、対応すべく日々努力しておりますが、車両の絶対数がおいついていない状況です。市より福祉車両の提供など、何かサービスがあれば、お聞きしたい所存です。
- ・どこの事業所でもヘルパー不足で苦慮していると思います。市の事業として初任者研修等を行ない、安価で養成して頂きたいです。又、ガイドヘルパー等の養成もして頂けるようお願いしています。
- ・事務工数（記録等）の削減を検討しているなか、逆行して工数が増えている。県と連携して指導監査のタイミングを合わせるとか繰り返し同じ様な資料の提出等見直して、負担軽減に柔軟に対応していただきたい。
- ・介護保険の認定結果が出るのが遅いため、事業所の事務業務に支障をきたしています。また、認定結果の遅れのため利用者への請求額が確定せず、利用者及びその家族にも影響が及んでいます。速やかに認定結果が出るよう体制作りをお願いしたいです。
- ・座間市と近隣市町村との介護保険の運営に違いがあり過ぎるため混乱する。（座間市が近隣と比べて違い過ぎる）
- ・ずいぶん資産を投入して運営している。又、一方で同業者が撤退して行く。そんな中で質の向上を要求しても実効は難しい。まず、安定した経営の出来ることが肝要。国、県、市は真っ先にそのことに取り組むべきと考えます。

【介護人材・職員待遇】

- ・介護事業において人材の確保、育成がとても重要です。介護の質を担保するためには、いい人材が集まるような、待遇も含めて、魅力ある業界にしていければと考えています。
- ・近年の人材不足に悩まされている。求人をだしてもほとんど効果なし、やむをえず時給の高い派遣職員を採用するが、決まった介護報酬の中、人件費だけが高騰し運営を圧迫してしまう。早急に人材確保についても実態を市が把握し、国への働きかけを行っていただきたい。（今いる職員は少ない人数の中様々な工夫をし何とか運営できるよう努力をしている。）当施設では短期入所（20名）平均の稼働が15名程だった。施設とすると安定経営をする上で、短期入所枠の縮小を行いたい。3年に一度の見直しではなく計画は毎年見直しでも良いのではと思います。
- ・介護職員の処遇改善加算はあるものの、事業所運営のための人件費にまかせません。書類作成や実施内容の負担が大きいそれよりも、単純に報酬単価をあげて欲しい。

【情報提供】

- ・訪問リハビリの情報（運営上の）を集めるのに苦労しています。
- ・他の市であり、よく座間市について理解出来ていません。

